

2026

# 授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾表現学科

2年次（2025年度生）

# 現代ファッション論

鈴木 桜子

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

「ファッションとは何か？」この問いに答えるのは容易ではありません。ファッションは私たちにとって最も身近な存在でありながら、個人と社会、歴史、文化、思想等のあらゆる領域と複雑に絡み合いながら現在に至っています。

本授業では、衣服と直接的な身体との関係、社会現象としての流行とメディアとの関係、様々な視点からファッションの現在の意味を問う展覧会に焦点をあて、「ファッション」について深く考えて行くことを方針としています。本授業は、ディスカッション、学生同士の相互評価、プレゼンテーションによるアクティブラーニングを重視します。

## 到達目標(学修成果)

「ファッション」について、ディスカッションを通して自らのファッション論を導き出すことを目標とします。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は2年次の必修科目であり、卒業要件科目です。ファッションに関する多角的な視点を持ちながら専門性を高めていくための科目です。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッション時のレポート、プレゼンテーションは、受講者同士で評価をし、フィードバックしていきます。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

毎回プリントを配布します。

## 参考文献

授業内で紹介します。

## オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

## 備考

沢山の服飾関連の授業を受講している皆さんにとって大事なことは、時に立ち止まり、物事を深く考える時間を持つことです。現在、ファッションについて社会学や哲学の立場から論じられている書物が数多く出版されています。それらをヒントに日頃からファッションについて深く考えてみましょう。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	「ファッション」を考える なぜ衣服を着るのか	予習：シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・ファッションと身体 コルセット	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
3回 鈴木	化粧	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
4回 鈴木	女性の服・男性の服	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
5回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
6回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振返り	30分
7回 鈴木	・ファッションとメディア ファッション写真	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
8回 鈴木	ファッション雑誌	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
9回 鈴木	かわいい世界	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
10回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
11回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振返り	30分
12回 鈴木	・ファッションと展覧会 「ラグジュアリー：ファッションの欲望」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
13回 鈴木	「SUKIN+BONES:1980年代以降の建築とファッション」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
14回 鈴木	「○○○○○」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
15回 鈴木	プレゼンテーションと評価	予習：プレゼンテーションの準備	100分

# 日本服飾文化史

梅谷 知世

服飾表現学科 2年 前期 必修 ( 2単位 講義 )

## 授業の方針・概要

アジアの東端に位置する日本は、古くから中国をはじめとする諸外国の影響をうけながら、独自の美意識に基づく豊かな服飾文化を作りだし成熟させてきました。この授業では、服飾・染織品の実物資料、文献資料、図像資料などを用いて原始・古代から近世にいたる日本服飾の移り変わりを概説します。さらに、各時代の服飾の特質を政治や社会との関係、造形性、美意識、同時代の演劇・美術・文芸との関連性、外国文化の影響などさまざまな視点から捉え、服飾の多様なあり方について考えます。講義形式で進めますが、授業中に取り上げるテーマについてグループでのディスカッションも行います。

## 到達目標（学修成果）

- ・原始・古代から近世までの日本服飾の移り変わりを理解し、説明することができる。
- ・各時代の服飾の特質について、同時代の資料に基づいて理解し説明することができる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。学芸員課程必修科目です。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の課題（授業内容の復習）について、次回授業時にフィードバックを行います。質問は随時受け付けます。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

## 参考文献

増田美子編『図説日本服飾史事典』（東京堂出版） 増田美子監修『ビジュアル日本の服装の歴史① ③』（ゆまに書房）  
その他の参考文献は授業中に紹介します。

## オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

## 備考

博物館や美術館に積極的に足を運び、服飾・染織の実物遺品や絵画作品など図像資料を見学する機会を持つよう心がけて下さい。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	日本服飾文化史の視点	シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	縄文・弥生時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
3回 梅谷	古墳時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
4回 梅谷	飛鳥時代の服飾：服制のはじまりと唐風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
5回 梅谷	奈良時代の服飾：衣服令と唐風服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
6回 梅谷	正倉院の服飾・染織	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
7回 梅谷	平安時代の服飾（1）：和様の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
8回 梅谷	平安時代の服飾（2）：重ね色目	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
9回 梅谷	鎌倉・室町時代の服飾（1）：武家服飾の成立	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
10回 梅谷	鎌倉・室町時代の服飾（2）：武家服飾の発展	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
11回 梅谷	小袖服飾の確立	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
12回 梅谷	安土桃山時代の服飾：武家服飾の変容と南蛮服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
13回 梅谷	江戸時代の服飾（1）：武家服制の確立と町人服飾の充実	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
14回 梅谷	江戸時代の服飾（2）：小袖の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、十分理解する。	120分

# 表現心理学 魅力の発見、魅力の伝達

手島 陽介

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

本講義では、自己表現や他者理解に目を向け、その基礎・基本を、実践を含めて学習する。自分の持てる魅力や力を存分に発揮できるように表現能力を高める理論と技術を身につけることが目的である。なお、本講義は次の3点から構成している。

第部 表現の歴史的考察(社会心理学) 第1~3回

第部 表現の場面に臨んでの振る舞い(パフォーマンス心理学、ポジティブ心理学) 第4~9回

第部 日常生活の中で自己表現(アドラー心理学、健康心理学) 第10~13回

## 到達目標(学修成果)

1. 表現を構成している心理学的要素が理解できる。
2. 自分自身の魅力や良さの発見、また他者理解が出来るようになる。
3. 集団の前にて自己表現ができるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件に必要な専門必須科目である。表現心理学の知識を実践的に身につけ、社会人としての基礎力・自己表現を培います。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

15回目に課題についての解説とテストの返却をし、本授業のまとめをする。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

進行に合わせてプリントを配布する。

## 参考文献

平木典子『アサーション入門 自分も相手も大切に自己表現法』講談社

佐藤綾子『非言語的パフォーマンス 人間関係をつくる表情・しぐさ』東信堂

## オフィスアワー・研究室

前期：水曜日(12:00-15:00) 研究室 後期：水曜日(12:00-15:00) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 (研究棟1階 6015)

## 備考

毎時間、プリントと教科書を準備してください

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 手島	<実践> 構成的グループエンカウンター(場面に応じた行動や感情を考える)[アクティブ・ラーニング]	復習:グループエンカウンターの自己の気づきをプリントに書き込む。	30分
2回 手島	<講義> 表現の心理学とは何か、表現の歴史的考察(社会環境・人格・感情)[アクティブ・ラーニング]	復習:プリントと教科書を振り返り、表現の歴史についてプリントに纏める。	60分
3回 手島	<実践> テーマについてグループ毎に話し合い、「個」とは何か、「魅力」とは何かを考える[アクティブ・ラーニング]	予習:グループワークのテーマを考え、授業の準備をする。	60分
4回 手島	<講義> 自己表現を支える考え方(日本文化と自己表現、適応的無意識)[アクティブ・ラーニング]	復習:12の権利と表現の定義について振り返り、ノートに纏める	60分
5回 手島	<講義> 自己開示と自己呈示(自己表現と成長、自己一致と不一致)[アクティブ・ラーニング]	復習:自己表現と羞恥性について日常の体験からワークを纏める	60分
6回 手島	<講義> 自己開示と自己呈示(自己表現と成長、自己一致と不一致)[アクティブ・ラーニング]	復習:社会的な自己と他者について日常の体験からワークを纏める	60分
7回 手島	<講義> コミュニケーションの要素(対人コミュニケーション)[アクティブ・ラーニング]	復習:コミュニケーションの要素について、日常と照らし合わせ例を考える	30分
8回 手島	<講義> 非言語的メッセージを考える(ボディランゲージ・フェイスランゲージ)[アクティブ・ラーニング]	復習:日常場面で、非言語的メッセージでのやりとりを実践する	30分
9回 手島	<実践> グループ毎にてテーマを決めて心理劇にて表現する[アクティブ・ラーニング]	予習:グループワークのための、テーマや内容、構成を考え授業の準備をする	60分
10回 手島	<講義> 魅力とは何か(アドラー心理学、自己決定生、劣等感、コンプレックス)[アクティブ・ラーニング]	復習:本日の内容を復習し、ワークを纏める	60分
11回 手島	<講義> 不安・ストレスなどの感情への対処について考える(アドラー心理学)[アクティブ・ラーニング]	復習:不安やストレス体験について、日常と照らし合わせワークを纏める	30分
12回 手島	<講義> アサーション技法(自己主張、アサーションについての考え方を理解する)[アクティブ・ラーニング]	復習:アサーション技法について実践をし、気づきをプリントに纏める	30分
13回 手島	<実践> ディベートを通して、アサーション技法を実践する(アサーティブな感情表現を考える)[アクティブ・ラーニング]	予習:ディベートの内容について、情報を収集し授業に取り組む	90分
14回 手島	本授業でのまとめ課題と小テスト	予習:これまでの授業プリント、ワークを振り返り、テストの準備をする	90分
15回 手島	まとめ 課題や小テストのフィードバックを行う	復習:返却された課題、テストを振り返り、全15回の授業内容を振り返る	60分

# 身体表現 パフォーマンス

中村 蓉

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

1.前半は主に「身体と感情・言葉・環境の関係性」を探求し、Jポップの歌詞、彫刻や絵画などをヒントに、自分だけが持つユニークな身体感覚と身体への意識を起し、身体を自由にコントロールする楽しさを知る為のワークショップを実施する。2.後半は前半で培った身体表現への理解を基に、創作と発表を実施する。この授業では、授業担当のダンサー・振付家・演出家としての実務経験を活かし、あらゆるパフォーマンスや表現の軸となる上記二点の経験を通し、身体表現の知識を深める。

## 到達目標(学修成果)

身体感覚を培うと共に身体機能への知識を深め、自分の身体や感情に対する興味の幅を広げる。また身体機能にイメージを加えることにより表現の幅が広がることを実感し、身体を作品の素材として捉え「コンセプト」「言葉」「身体」を繋げ、最終的に「身体への知識」と「想像力」を融合させダンス作品創作に挑戦し、観る側に提示することをできるようにする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、必修科目である。「身体」について、実際に身体を動かすことにより得る体感的知識は、全専攻の礎として、表現物の支持体となり活かされていく。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

身体の動きについては都度その場でフィードバックを行う。コンセプトシートやレポートについては、シートやレポートを回収しフィードバックを記して返却する。創作の小作品については授業内に発表後、主に口頭で行う。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

## 教科書

必要に応じて、資料を配布する。

## 参考文献

必要に応じて、資料を配布する。

## オフィスアワー・研究室

初回授業で伝える。

## 備考

動きやすい服装(スカート不可)での参加。ジャージを持参し替えることを推奨する。状況によりシラバスの内容が変更になる可能性がある。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中村	身体感覚と意識を起こすワークショップ1~自分の身体を認識する~	予習:知っているダンスのジャンルを挙げる。好きな振付(CMやMVなど)があれば列挙する	30分
2回 中村	身体感覚と意識を起こすワークショップ2~歌詞をヒントに身体にイメージを加える・フォーメーションを考える~	予習:前回の振付を復習する	30分
3回 中村	身体感覚と意識を起こすワークショップ3~他者の身体を使い身体への意識を深める~	予習:生活の中で前を歩く人と同じリズムで歩く。場所による人との距離の違いを意識。	30分
4回 中村	身体感覚と意識を起こすワークショップ4~どんなものにも「なりきる」~	予習:好きな彫刻・面白い彫刻の画像を探し保存する。	30分
5回 中村	身体感覚と意識を起こすワークショップ5~世界の振付家の作品を観る~	予習:これまでに観たことのある舞台作品を列挙する。	30分
6回 中村	身体感覚と意識を起こすワークショップ6~創作瞬発力チャレンジ・コンセプトを伝える~	予習:前回観た作品の中の印象的な振付を列挙する。生活の中の「出会いと別れ」を探す。	30分
7回 中村	身体感覚と意識を起こすワークショップ7~日本の振付家の作品を観る~	予習:興味のあるテーマを考える。コンセプトを表現する為に必要な言葉や動きを考える。	30分
8回 中村	小作品創作1~振付家になる/ダンサーになる。(他人に振り付ける/他人の振り付けを踊る)1~	予習:興味のあるテーマを考える。コンセプトを表現する為に必要な言葉や動きを考える。	30分
9回 中村	小作品創作1~振付家になる/ダンサーになる。(他人に振り付ける/他人の振り付けを踊る)2~	予習:興味のあるテーマを考える。コンセプトを表現する為に必要な言葉や動きを考える。	30分
10回 中村	作品創作3~自分に振り付ける~	予習:興味のあるテーマを考える。コンセプトを表現する為に必要な言葉や動きを考える。	30分
11回 中村	作品の観察・考察~感覚を言葉にする~	予習:前回創作した作品を復習。	30分
12回 中村	作品創作4~創作を深める~	予習:前々回創作した作品を前回の考察をもとにブラッシュアップできる点を列挙。	30分
13回 中村	作品創作5~映像アングルを取り入れる~	予習:MVや映画の予告編を「アングルのこだわり」に注目して鑑賞する。	30分
14回 中村	作品鑑賞6~映像アングルを取り入れる~	予習:各自、創作の「こだわり」を列挙する。	30分
15回 中村	総復習	予習:ここまでの授業で行った内容を思い出す。	30分

# 空間構成

千代崎 寛

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

服飾表現学科の専門分野それぞれに共通するテーマである「空間」についての実験と考察を繰り返す。理論的な知識にとどまらず自らの五感を使い身体感覚としての空間意識を獲得していく。メモやスケッチ、画像・映像撮影の記録を各自まとめた「ノート」を課題の軸とする。この授業では特に舞台や店舗における空間構成を主なモチーフとして取り上げていく。日野校舎の環境を最大限に活用し他の科目と横断しながら表現の基礎となる造形力や発想力を養成していく。

## 到達目標(学修成果)

1. 各専門分野に共通する課題である「空間」について基礎的な考え方やアプローチを行う力を身に付けることが可能となる
2. 実験・演習とノートによる記録を通して「空間」の重要性について考察や理解ができる
3. スタジオ設備とデジタル制作環境の活用によって「空間」を多角的にとらえることができる

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「空間構成I」は服飾表現の分野で企画・提案や実際の現場において活躍できる専門力向上に資する科目です。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッションと研究ノート・課題返却のコメント、プレゼンテーションの講評などで授業内にて随時フィードバックを行う。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

なし

## 参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

## オフィスアワー・研究室

空間構成研究室(日野校舎)基本的には授業実施時間の前後に設ける。目黒校舎でのオフィスアワーは別途掲示する。

## 備考

表出されるイメージは過去にみた「もの・こと」からのみ産み出される。イメージをOutputし続けるためには常にInputし続ける必要がある。その円環する環境・システムを自分の中に構築して欲しい。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・授業概説と導入 服飾表現と空間の関係について～課題「ノート」について	復習:配布資料(授業概要、授業計画など)の内容を熟読しておく	30分
2回 千代崎	演習 1「身体スケールからの考察」 課題 フィールドワーク「身体・視点」	予習:「ノート」準備 復習:フィールドワーク 画像撮影	60分
3回 千代崎	演習 2「単位(ものさし)についての考察」 自身の身体スケールから身の回りの空間の関係をはかる	復習:フィールドワーク 画像撮影・プレゼンテーション用ボード準備	60分
4回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 「ノート」提出	予習:演習へむけてのリサーチ	90分
5回 千代崎	演習 1「光と影の演出」(スタジオ・ライティング演習) 課題 フィールドワーク「街・視点」	復習:フィールドワーク 画像撮影	60分
6回 千代崎	演習 2「光と影の演出」(スタジオ・ライティング演習)	復習:フィールドワーク 画像撮影・プレゼンテーションボード準備	90分
7回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 「ノート」提出	予習:演習へむけて舞台・店舗のリサーチ	60分
8回 千代崎	演習 「舞台・店舗空間」(地と図の関係) 課題 1 グループワーク「撮影背景のための美術制作」	予習:美術制作(素材)のリサーチ 復習:課題の制作・記録	90分
9回 千代崎	課題 2 グループワーク「撮影背景のための美術制作」	予習:美術制作(技術)のリサーチ 復習:課題の制作・記録	90分
10回 千代崎	課題 3 グループワーク「撮影背景のための美術制作」 スタジオでの撮影	復習:課題の制作・記録・プレゼンテーションボード準備	60分
11回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 「ノート」提出	予習:演習へむけて街のリサーチ	60分
12回 千代崎	演習 「空間プランニング」(仮設空間を使った提案) 課題 1 グループワーク「マケット制作」	復習:課題の制作・記録	60分
13回 千代崎	課題 2 グループワーク「マケット制作」	復習:課題の制作・記録	60分
14回 千代崎	課題 3 グループワーク「マケット制作」 スタジオでの撮影	復習:課題の制作・記録・プレゼンテーションボード準備	90分
15回 千代崎	まとめ・展開 課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評「ノート」提出	予習:プレゼンテーション準備 復習:夏期課題・空間構成IIへ	60分

# 画像表現

中野 希大

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

服飾表現における画像 = ファッション写真について考え、その表現に取り組みます。プライベートフォト、ストリートスナップ、ルックブックやInstagram等の写真、コマーシャルフォトなど、各ジャンルの制作を通して、それぞれの表現のポイントやイメージの構築を行っていきます。また、各自の「テーマ」に沿ったコンテンツ収集と編集を通し、今日の様々なメディア表現を探ります。

## 到達目標 (学修成果)

カメラを熟知し、目的に合わせてコントロールして撮影できるようになる。  
写真 (画像) を様々なメディアの表現形式に合わせて活用できるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、必修の卒業要件科目です。服飾文化において、イメージ発信者の基礎知識として生きる科目です。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業については、学内システムで対応します。提出課題については、授業内講評によってコメントを返します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

## 教科書

特に指定しない。

## 参考文献

写真の教科書、Photoshop、Illustratorの入門書など、各自のスキルに合わせて持っているといよい。

## オフィスアワー・研究室

授業後30分ほど、表現演習研究室 (第3校舎1階) または本校舎1階教務課

## 備考

デジタルカメラを各自で用意してください。他の授業でも使用するので、動画撮影もできるミラーレス一眼レフカメラを推奨します。標準ズームレンズが望ましい。この授業では誰かに借りて持参しても構いませんが、あらかじめ準備しておいてください。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 中野	Theme1 プライベートフォト 課題提示	復習：課題の内容を考え、撮影対象を決める。制作準備を進める。	60分
2回 中野	Theme1 プライベートフォト 編集・制作	予習・復習：プライベートフォトの撮影、セレクトに取り組む。	60分
3回 中野	Theme1 プライベートフォト 提出	予習：プライベートフォトの編集、レタッチに取り組む。	60分
4回 中野	Theme2 ストリートスナップ 課題提示	復習：課題の内容を考え、撮影対象を決める。制作準備を進める。	60分
5回 中野	Theme2 ストリートスナップ 編集・制作	予習・復習：ストリートスナップの撮影、セレクトに取り組む。	60分
6回 中野	Theme2 ストリートスナップ 提出	予習：ストリートスナップの編集に取り組む。	60分
7回 中野	Theme3 ルックブック (ビジュアルブック) 課題提示	復習：ブランドを想定し、服、モデルなど撮影対象、ページ構成を決める。	60分
8回 中野	Theme3 ルックブック (ビジュアルブック) 編集・制作	制作：モデルの撮影、セレクトに取り組む。	60分
9回 中野	Theme3 ルックブック (ビジュアルブック) 編集・制作	制作：レタッチ、レイアウトに取り組む。	60分
10回 中野	Theme3 ルックブック (ビジュアルブック) 編集・制作	制作：レタッチ、レイアウト、製本に取り組む。	60分
11回 中野	Theme3 ルックブック (ビジュアルブック) 提出	制作：レタッチ、レイアウト、製本に取り組む。	60分
12回 中野	Theme4 コマーシャルフォト 課題提示	復習：広告の内容を考え、撮影対象を決める。制作準備を進める。	60分
13回 中野	Theme4 コマーシャルフォト 編集・制作	制作：コマーシャルフォトの撮影、セレクト、ラフに取り組む。	60分
14回 中野	Theme4 コマーシャルフォト 編集・制作	制作：コマーシャルフォトのレタッチ、構成、レイアウトに取り組む。	60分
15回 中野	Theme4 コマーシャルフォト 提出	制作：コマーシャルフォトのレタッチ、構成に取り組む。	30分

# ドローイング・構想

瀬古 徹

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

1. 「図発想」の能力を養う 図を描くことにより発想をし、又、発想を具体化するために図を描く。「描かなければ、思いつかない！」 2. 「図表現」の能力を養う 図を言語のように、或いは、それ以上に扱うために。「描いたものは、伝わらなくてはならない！」 ものごとを表現する人にとって、「描く」ことが、生活の中で日常化していなくてはならない。描画を通して“思い描く”能力を鍛えて行く。具体的には、絵コンテ、デザイン画、プランニングなどを通して“描くこと”をコミュニケーションの道具に変えていく過程を学んでいく。

## 到達目標(学修成果)

1. 観察力にもとづく「発想力」を喚起させる能力を身に付けことを可能とする。
2. イラストによる企画(デザインイメージを含む)の能力を身に付けることを可能とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連卒業要件科目であり、必修科目である。服飾表現の根幹である「描くこと 思い描くこと」の体感的知識は、全専攻の礎となり、表現におけるツールとして活かされていく。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回の作品をプレゼンテーション時に授業内で講評、解説する。また、必用に応じて作品の全体的な評価点、問題点等を提出された作品の抜粋等により解説する。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

授業の進行に合わせて、必要な場合プリントを配付する。

## 参考文献

必要に応じて授業時に指示

## オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示。連絡先研究室：大学表現演習研究室(第3校舎1階)

## 備考

授業内容欄表記 A.L=アクティブラーニング

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 瀬古	オリエンテーション 日常の、もの・ことに対する視点(見方、見え方)について。創作者倫理について	予習; シラバス内容の確認 復習; 画材の準備	30分
2回 瀬古	・「人物」簡素な形態表現-1(出題) 幾何形態の構成[A.L] ・プレゼンイラスト-1(出題)「親しい人の逆デザイン」	復習; ピクトグラム等の確認。プレゼンイラストの研究開始	90分
3回 瀬古	・「人物」-2(途中指導) ・エクササイズ	予習; 「人物」の作成 復習; 「人物」の完成	45分
4回 瀬古	・「人物」-3(プレゼンテーション・講評)[A.L] ・絵コンテ -1(出題)「コマースの逆絵コンテ」	予習; 「人物」の完成 復習; CM映像の研究	45分
5回 瀬古	・絵コンテ -2(途中指導)[A.L] ・エクササイズ②	予習; CM映像の研究 復習; 絵コンテ のブラッシュアップ	45分
6回 瀬古	・絵コンテ -3(プレゼンテーション・講評)[A.L] ・プレゼンイラスト-2(途中指導)	予習; 絵コンテ の完成、プレゼンイラストのエスキース	45分
7回 瀬古	・プレゼンイラスト-2(途中指導)[A.L] ・絵コンテ -1(出題)オリジナル映像の絵コンテ	予習; プレゼンイラストのエスキース 復習; 絵コンテ の作成	45分
8回 瀬古	・絵コンテ -2(途中指導)[A.L] ・エクササイズ	予習; 絵コンテ の作成 復習; 絵コンテ の完成	45分
9回 瀬古	・絵コンテ -3(プレゼン、講評)[A.L] ・空間把握 -1(出題)「自分の部屋の見取り図」	予習; 絵コンテ の完成 復習; 自分の部屋の測量、空間把握 の作成	45分
10回 瀬古	・空間把握 -2(途中指導)[A.L] ・エクササイズ	予習; 空間把握 の作成 復習; 空間把握 の完成	45分
11回 瀬古	・空間把握 -3(プレゼン、講評) ・空間把握②-1(出題)「自分の部屋の舞台装置化」	予習; 空間把握 の完成 復習; 空間把握②の作成、舞台装置の研究	45分
12回 瀬古	・空間把握 -2(途中指導)[A.L] ・エクササイズ	予習; 空間把握②の作成 復習; 空間把握②の完成	45分
13回 瀬古	・空間把握②-3(プレゼン、講評)[A.L] ・プレゼンイラスト-3(途中指導)[A.L]	予習; 空間把握②の完成 復習; プレゼンイラストのブラッシュアップ	45分
14回 瀬古	・プレゼンイラスト-4(途中指導)[A.L] ・エクササイズ	予習; プレゼンイラストのブラッシュアップ 復習; プレゼンイラスト最終確認	45分
15回 瀬古	・プレゼンイラスト-5(プレゼン、講評)[A.L] ・まとめ 「発想」「構想」「企て」について[A.L]	予習; プレゼンイラストの完成 ファイルの完成	45分

# グラフィックデザイン

土屋 純一

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

現在、グラフィックデザインの領域は紙媒体からWebを中心とした電子媒体へ移行しつつある。紙媒体とWebなどでは使用するアプリケーションや画像の形式、形態なども異なり違ったスキルが要求されるが、グラフィックデザインでは1で身につけた知識とPhotoshopやIllustratorのスキルをもとにWebページのデザインにも対応できる力を身につけてゆく。具体的には基本的な構造やhtml、cssなどの知識を理解し、Dreamweaverを使用してWebページのフレームワークから動的なプロトタイプまでを制作することで、視覚的のみならず構造的なデザインについても理解を深める。

## 到達目標(学修成果)

単にアプリケーションが使えるようになるだけでなく、Webページの仕組みを理解し、UI/UXだけでなくコーディングも意識したデザインができる基本的な力を身に付けることを目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目である。全専攻において、現在増えつつある電子媒体を使ったプレゼンテーションなどの情報発信に必要なデザイン能力を身につける為の授業である。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題ごとに個別講評を行う。作品はすべてデータで提出されたものを採点する。提出作品は学内システム内で公開。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

特に指定しないが授業ごとに紹介し、プリントを配布する。

## 参考文献

世界一わかりやすい Dreamweaver 操作とサイト制作の教科書 CC対応(技術評論社)、デザインの学校/これからはじめる HTML & CSSの本(技術評論社)

## オフィスアワー・研究室

月曜日、火曜日(12時10分~12時50分) 連絡研究室 大学表現演習研究室(第三校舎1階)

## 備考

授業に必要な教材はプリント等で配布するが、さらに高度な内容を解説書などで参照して自主的に学習すること。プリント類はすべてファイリングし、授業に毎回持参すること。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 土屋	Webページについて/仕組みや構造の基本、画像形式、画像処理、解像度、色について。	予習: シラバスの確認。復習: Web上で使用される画像形式やその特徴、制作方法など。	60分
2回 土屋	Webページについて/既成のページ解析を通してファイル構造等を理解する。	予習: Webの調査。復習: Webページの仕組みを配布されたプリントをもとに再確認する。	60分
3回 土屋	htmlについて/タグの基本。使い方。ページ構築。	復習: それぞれのタグの意味を確実に理解できるように復習すること。	60分
4回 土屋	cssについて(1)/基本。使い方。	復習: 授業内で制作したhtmlの完成度をさらに高めておく。	60分
5回 土屋	cssについて(2)/応用。	復習: cssの意味と機能について理解を深めておく。	60分
6回 土屋	cssについて(3)/cssによるページデザイン。	予習: 7回目の授業に必要な自己作品の準備。復習: cssの応用について。	100分
7回 土屋	Webデザイン(1)/自己作品をもとにしたwebページの制作。	復習: ページ構成やラフデザインを完成させる。	30分
8回 土屋	Webデザイン(2)/自己作品をもとにしたwebページの制作。レスポンス対応。	予習: 使用する素材準備。コンテンツの内容を具体的に考えておく。	30分
9回 土屋	Webデザイン(3)/自己作品をもとにしたwebページの制作。レスポンス対応。リンクの設定。	予習: コンテンツに必要な素材を準備する。復習: Webページを完成させる。	30分
10回 土屋	作品の相互鑑賞、ディスカッション、講評。 Webデザイン(4)/Dreamweaverについて	予習: コンテンツに必要な素材を準備する。復習: Dreamweaverの基本操作について。	60分
11回 土屋	Webデザイン(5)/Dreamweaverまたはテキストによるページ制作。	復習: サブページの作成。	45分
12回 土屋	Webデザイン(6)/Dreamweaverまたはテキストによるページ制作。CSSデザイナーパネルの活用方法。	復習: サブページを完成させる。	45分
13回 土屋	Webデザイン(7)/Dreamweaverまたはテキストによるレスポンスタイプページの制作。	復習: 全ての必要なページを完成させる。	45分
14回 土屋	Webデザイン最終評価課題。ファイル提出。	復習: リンクや不具合を確認、修正し、Webページを完成させる。	30分
15回 土屋	Webページ公開、全作品の相互鑑賞、講評。	復習: 講評に基づいて客観的に自己作品を分析する。	30分

# 服飾表現演習

千代崎 寛、角倉 典彦、大町 志津子、中村 のん、中島 ゆう子

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

2年後期からの系を選択するためのオムニバス授業です。各業界で実務をしている4名の担当者による授業です。

角倉：「メディア表現」の入門編として、基本的な映像制作プロセスとファッションショー制作を演習授業として学ぶ。

大町：「衣装表現」に必要な知識と表現力とは何かを写真や映像などで学び実際に形にしていく基礎力を養う。

中村：スタイリストとは具体的にどのような仕事か。その概要と、プロになるために必要なものは何かについて学ぶ。

中島：VMDの基本を学び店作りの重要性を理解する。授業担当者の経験に基づきVMDのあり方を修得できるようにする。

## 到達目標（学修成果）

角倉：映像制作の基本プロセスとファッションショーの基本構成を理解することを目標とする。

大町：衣装デザイナーに必要な基本的な知識を得て、各時代のスタイルを理解しデザインできるようにする。

中村：スタイリストに必要な基本的な知識を得て、プロとしての仕事に繋げていけるようにする。

中島：ビジュアルマーチャングの基本を学ぶことで最低限度の用語、知識を学び店作りが分かるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で必修科目。2年後期の専門の系を選ぶためにこの授業を受けることにより、全ての系の授業内容を把握します。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

大町・中村：授業の終わりに小レポートを作成し提出後添削して返却します。提出方法は授業内で指示します。

中島：小テストの添削、返却は授業内で指示します。角倉：課題に対しては授業内で講評します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

大町・角倉・中村：特に指定しないが必要に応じて紹介またはプリント配布する。

中島：中島ゆう子著書の教科書のコピーを使いVMD用語を覚える。

## 参考文献

大町：三省堂図解ライブラリー ファッションの歴史 ピエロ・ヴェントゥーラ/文・画・徳井淑子「図説ヨーロッパ服飾史」

中島：店づくり&ディスプレイ 商業界発行 中村：DVD「ココ・シャネル」

## オフィスアワー・研究室

それぞれ担当者の第1回目の授業に指示する。

## 備考

大町・角倉・中島・中村：予習・復習の時間は各自必要に応じて増減すること

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 全員	4専攻合同でのオリエンテーション・ガイダンス、質疑応答	復習：授業内で指示する	30分
2回 中村	中村：自己紹介・スタイリストとは。 ・好きなものアンケート・人の魅力を見つけるワークショップ	復習：アンケートを提出	30分
3回 角倉	角倉：映像制作 デジタル編集の基礎・プロのファッションショーを題材に映像編集を学ぶ	予習：カメラの動画撮影マニュアルの確認 復習：映像編集後にサーバに提出	60分
4回 中島	中島：V.M.D.の基本を解説。視覚に訴える店づくりとマーチャングの必要性を学ぶ。	復習：分かりやすいV.M.D.のコピーを配布する基本を覚える	45分
5回 大町	大町：衣装デザイン・衣装表現について写真や動画などの視聴。制作予定の帽子についての説明。レポート作成	復習：レポート作成 予習：帽子制作に向けての準備	30分
6回 中・中	中村：映像鑑賞（デニム）感想レポート執筆 中島：適宜指示する	予習：適宜指示する 復習：適宜指示する	30分
7回 角倉	角倉：映像制作 前回課題発表/講評。現役映像ディレクターの指導による作品の撮影/制作演習。	復習：課題映像撮影/サーバーへの提出	120分
8回 中村	中村：研究室のアイテムを並べる・コーデ実践 ・好きなものアンケートを元にワークショップ「相手を知る」	復習：関連映画を観る。感想レポートを提出	120分
9回 中島	中島：嫌い・好きなスタイリングのイメージの収集。コーディネート後にファッション雑貨も含め提出する。	予習：Pinterestをネットで開き、V.M.D.やディスプレイに関連する写真を見ておく	45分
10回 大町	大町：帽子制作に向けてのイメージ作り。デザイン画を描き制作。デザイン相談	予習：帽子のデザイン画を描く 復習：帽子を完成させる	30分
11回 角・大	角倉：課題発表・ファッションショーの基本構成の理解とグループ立案。大町：動画を観ながら衣装表現の考察	(角倉)グループ立案のまとめ (大町)感想レポート提出	30分
12回 中村	中村：持参したアイテムを並べる・中村コーディネート実践ペアになってスタイリング・撮影	準備：上下黒の服を着用。服と小物を持参 復習：before・afterボード・レポート	60分
13回 角倉	角倉：ショーの実践とマルチカメラでの撮影。演出/モデル/音響/照明/撮影/スイッチングなどを体験する。	予習：グループ立案の確認 復習：感想レポート作成	60分
14回 中島	中島：温度差による着こなしの違いー 夏期30 ・冬期5 のコーディネートマップを作成。	予習：雑誌の切り抜き。 復習：PCを使って作成。	45分
15回 大町	大町：プレゼンテーション・ディスカッション・講評 帽子の変化やスタイルについての講義 レポート作成。	予習：帽子の完成 復習：レポート作成	30分

# 色材演習

土屋 純一

服飾表現学科 2年 後期 必修 ( 2単位 演習 )

## 授業の方針・概要

素材の色彩と材質感についての観察、発見、収集、分類、検証、構成を行う。具体的には布素材のみならず、ひろく身の回りの「モノ・コト」に眼を向けたフィールドワークから「オリジナルな色と質の資料」を制作し、平面、立体デザインへと応用する。そして将来「素材からのデザインの提案～展開」が出来る視点や可能性を準備する。

## 到達目標 (学修成果)

造形を行う際の素材の選択や、その特徴を生かした表現方法など色彩と質の構造について理解し、今後の服飾造形表現に応用する素材活用ができるようになる力を養う。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目である。造形表現における素材の色彩と材質に対する知識と発想力を高める為の授業である。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各課題終了後に講評を行う。最終作品ファイルは個別講評、採点后に返却する。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

なし

## 参考文献

進行に合わせて授業内で紹介し、プリントを配布する。

## オフィスアワー・研究室

月曜日、火曜日 (12時10分～12時50分) 連絡研究室 大学表現演習研究室 (第三校舎1階)

## 備考

毎回、授業で説明した「フィールドワーク」を通して、日頃から素材に対する幅広い考察を行うこと。授業準備を怠ると課題演習ができない。すべての配布プリント及び作品はファイルにまとめて毎回授業に持参すること。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 土屋	導入 / 授業概要。「フィールドワーク」の目的、方法。イメージと素材との関係について。	予習：シラバスの確認 復習：フィールドワークの準備。	30分
2回 土屋	講義 / 「視覚と触覚 / 素材と表現」、フィールドワークの確認。	予習：フィールドワークによる素材調査と収集。 復習：紹介した事柄や作家について。	90分
3回 土屋	演習「サンプリング～資料制作」 / 収集、分類。素材分析についてのディスカッション。	予習：フィールドワークによる素材収集と分類。 復習：色彩と質感の分析。	60分
4回 土屋	” / 色と材質感。素材分析についてのディスカッション。	予習：フィールドワークによる素材収集と分類。 復習：色彩と質感の分析。	60分
5回 土屋	” / 素材の分類。素材分析についてのディスカッション。	予習：素材と言葉のイメージの収集。 復習：色彩と質感の分析。	60分
6回 土屋	” / 色とイメージの分類。素材分析についてのディスカッション。	予習：素材と言葉のイメージの収集。 復習：色彩と質感の分析。	60分
7回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～イメージからの展開」 / 構造と構成。演習 講評。	予習：色彩と質感のリサーチ及びフィールドワークによる素材収集。復習：作家研究。	60分
8回 土屋	” / イメージからの素材の選択、色彩と材質感についての分析。	予習：フィールドワークによる素材収集。復習：集合体による色彩と質感について。	45分
9回 土屋	” / 織りによる平面構成。集合体による色彩と材質感。	予習：フィールドワークによる素材収集。復習：織の構造について分析。	45分
10回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～立体への展開」 / イメージの立体構成・質の変化。演習 講評。	予習：フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習：準備課題「質の変化」。	45分
11回 土屋	” / 重層構造による立体表現。独自の素材表現方法について。	予習：フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習：素材加工の技法について。	45分
12回 土屋	” / 立体的な視点からのデザイン構成について。	予習：フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習：立体構成について。	45分
13回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～質のデザイン」 / 色と材質感の提案。オリジナルな素材表現。演習 講評。	予習：フィールドワークによる素材収集、スクラップ作成。復習：素材の加工方法について。	60分
14回 土屋	” / デザインのトリミング。重層構造による色彩と質感。	予習：フィールドワークによる素材収集。復習：スクラップ作成。	60分
15回 土屋	まとめ「イメージファイル」 / 色と質感イメージ。総合講評。	予習：色彩と質感に関するイメージファイルの完成。復習：講評を踏まえての自己分析。	45分

# 服飾表現史

鈴木 桜子

服飾表現学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

これまで時代の装いはどのように表現され伝えられてきたのでしょうか。1年次の「西洋服飾文化史」で学んだ基礎知識をベースに、授業の前半では絵画を中心に、そこに描かれた時代服飾の意味を読み解き、後半ではストーリーを伴う服飾表現について漫画や絵本の世界を取り上げ考察していきます。授業の方針として、授業の前半・後半共に受講者自ら服飾表現を読み解く題材を取り上げ調査し発表するアクティブラーニングを重視します。調査をする上では、海外の大学や博物館のアーカイブを利用し、調査方法の一つとして海外のHPにも触れていく機会を設けていきます。

## 到達目標(学修成果)

受講生は本科目を履修することによって、絵画、絵本、漫画等を資料に、時代と共に発展していった表現技術について学ぶことができ、「服飾」という新たな視点からその表現内容を理解することができるようになります。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科の卒業認定に必要な必修科目です。2年次以降の各専攻において、より専門性を高めて学修していく上での基礎科目になります。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

2回行われる発表について、受講生同士で相互評価を行いフィードバックしていきます。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

なし

## 参考文献

The Museum at Fashion Institute of Technology <https://www.fitnyc.edu/museum/>、The Metropolitan Museum of Art <https://www.metmuseum.org/>、Victorian & Albert Museum <https://www.vam.ac.uk/> 他

## オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

## 備考

なし

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	ガイダンス	予習: シラバスを確認する	30分
2回 鈴木	絵画にみる服飾表現・西洋絵画編・資料の選定	予習: 図書館で絵画資料を探す	40分
3回 鈴木	調査の方法その1	復習: 図書館で関連資料を調査する	40分
4回 鈴木	調査の方法その2	復習: 図書館・HPで関連資料を調査する	40分
5回 鈴木	服飾表現を読み解く 事例1	復習: 図書館・HPで関連資料を調査する	40分
6回 鈴木	プレゼンテーションと評価(1)	発表の準備	40分
7回 鈴木	プレゼンテーションと評価(2)	発表の準備	100分
8回 鈴木	プレゼンテーションと評価(3)	発表の準備	100分
9回 鈴木	漫画・絵本にみる服飾表現資料の選定	予習: 漫画・絵本資料を探す	40分
10回 鈴木	調査の方法	復習: 図書館で関連資料を調査する	40分
11回 鈴木	服飾表現を読み解く 事例1	復習: 図書館・HPで関連資料を調査する	40分
12回 鈴木	服飾表現を読み解く 事例2	復習: 図書館・HPで関連資料を調査する	40分
13回 鈴木	プレゼンテーションと評価(1)	発表の準備	40分
14回 鈴木	プレゼンテーションと評価(2)	発表の準備	100分
15回 鈴木	プレゼンテーションと評価(3)	発表の準備	100分

# 空間構成

千代崎 寛

服飾表現学科 2年 後期 必修 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

前期「空間構成I」をベースにスケールを拡張した3次元空間での応用・展開を図る。時間の変化や音響、照明などの要素を加えさらに五感を使った身体感覚としての空間意識を獲得していく。メモやスケッチ、画像・映像撮影の記録を各自まとめた「ノート」を課題の軸とする。空間意識を持つことで舞台や衣装表現、映像・ショーのディレクションや被写体のスタイリング、ビジュアルマーチャンダイジングへと展開していく。

## 到達目標(学修成果)

1. 各専門分野に共通する課題である「空間」について基礎的な考え方やアプローチを行う力を身に付けることが可能となる
2. 実験・演習とノートによる記録を通して「空間」の重要性について考察や理解ができる
3. スタジオ設備とデジタル制作環境の活用によって「空間」を多角的にとらえることができる

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「空間構成I」は服飾表現の分野で企画・提案や実際の現場において活躍できる専門力向上に資する科目です。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッションと研究ノート・課題返却のコメント、プレゼンテーションの講評などで授業内にて随時フィードバックを行う。15回目提出された「ノート」の添削、返却方法は授業内に指示します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

なし

## 参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

## オフィスアワー・研究室

空間構成研究室(日野校舎)基本的には授業実施時間の前後に設ける。目黒校舎でのオフィスアワーは別途掲示する。

## 備考

イメージを具体的に示すための方法・技術は専門の枠内ではなく他の分野への興味や好奇心・経験から得る場合が多いことを体験して知ってほしい。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・授業概説と導入 服飾表現と空間の関係について～課題「ノート」について	復習: 配布資料(授業概要、授業計画など)の内容を熟読しておく	30分
2回 千代崎	演習 _1「音空間からの考察」 課題 フィールドワーク「街の音を聴く」	予習: 「ノート」準備 復習: フィールドワーク 音の収集	60分
3回 千代崎	演習 _2「音響のための道具・素材」	復習: フィールドワーク 音の収集・プレゼンテーション用ボード準備	60分
4回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 「ノート」提出	予習: 演習へむけてのリサーチ	90分
5回 千代崎	演習 _1「光の演出」(舞台・ライティング演習) 課題 フィールドワーク「商業空間の光のリサーチ」	復習: フィールドワーク 画像撮影	60分
6回 千代崎	演習 _2「光の演出」(舞台・ライティング演習)	復習: フィールドワーク 画像撮影・プレゼンテーションボード準備	90分
7回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 「ノート」提出	予習: 演習へむけて映像のリサーチ	60分
8回 千代崎	演習 「映像空間」(多層な空間を考察する) 課題 1 グループワーク「映像のための美術制作」	復習: 課題の制作・記録	90分
9回 千代崎	課題 _2 グループワーク「映像のための美術制作」	復習: 課題の制作・記録	90分
10回 千代崎	課題 _3 グループワーク「映像のための美術制作」 スタジオでの撮影	復習: 課題の制作・記録・プレゼンテーションボード準備	60分
11回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 「ノート」提出	予習: 演習へむけてディスプレイ空間のリサーチ	60分
12回 千代崎	演習 「空間プランニング」(仮設空間を使った提案) 課題 1 グループワーク「ディスプレイ空間の提案」	復習: 課題の制作・記録	60分
13回 千代崎	課題 _2 グループワーク「ディスプレイ空間の提案」	復習: 課題の制作・記録	60分
14回 千代崎	課題 _3 グループワーク「ディスプレイ空間の提案」 スタジオでの撮影	復習: 課題の制作・記録・プレゼンテーションボード準備	90分
15回 千代崎	まとめ・展開 課題 プレゼンテーションとディスカッション 講評「ノート」提出	予習: プレゼンテーション準備 復習: 専門専攻へ接続する	60分

# 立体造形構想

桐山 征士

服飾表現学科 2年 前期 必修 ( 2単位 演習 )

## 授業の方針・概要

オリジナルの服のデザインを考察し、エスキースのトレーニングを行い、デザイン画を描く授業。  
 デザインに不可欠な「思考の密度を上げる」訓練と「独自の視点とその体現」を目指す。  
 色彩演習の授業をベースとした、コンセプトに見合った色彩の選択を学ぶ。(バリエーションの出し方を含む)  
 ドローイングをベースとした、それぞれ自由な表現スタイルのデザイン画(レンダリング)を学ぶ。  
 ニーズ(needs)な商品をデザインと呼ぶ時代は終わっている。ウォンツ(wants)もしくはシーズ(seeds)なデザインを学ぶ。

## 到達目標 (学修成果)

デザインプロセスやコンセプトの構想法を身に着ける。教員とディスカッションすることで、言葉とビジュアルのコミュニケーション能力が養える。

思考の密度が上がる。独自の視点とその体現が可能となる。

積極的にディスカッションすることで、今社会で求められている積極性と忍耐力を育む。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目。全ての造形に関わる授業に必要な構想力・ディスカッション・プレゼンテーション、ドローイングの基礎力を身につける。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業外でも随時相談に乗る。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

なし

## 参考文献

適宜資料をデータで配布(留学生在が簡単に翻訳できるようにするため。また、紙資源の削減のため)

## オフィスアワー・研究室

3003工芸室

## 備考

授業15回

\* 授業計画の下記回数 2 回で授業 1 回(90分)

1から20回までPC教室使用。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	必要時間
1回 桐山	美術家兼デザイナーの担当教員による、デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義	講義の復習・確認	30分
2回 桐山	既存のブランドテーマの分析	既存のブランドテーマの分析	30分
3回 桐山	各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成	既存のブランドテーマの分析	30分
4回 桐山	各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成・提出	既存のブランドテーマを仕上げて提出	30分
5回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
6回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
7回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	エスキース(量) *制作の素案という意味。 デザインのアイデアを描き出し検討するプランニングのこと。	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
12回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
13回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
14回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
15回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分

立体造形構想

桐山 征士

服飾表現学科 2年 前期 必修 ( 2単位 演習 )

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	
16回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
17回 桐山	エスキース(質) 複数のエスキースからひとつ選び、ブラッシュアップ。	エスキースのブラッシュアップ。	30分
18回 桐山	エスキース(質) 複数のエスキースからひとつ選び、ブラッシュアップ。	エスキースのブラッシュアップ。	30分
19回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
20回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
21回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
22回 桐山	下書き完成。	下書きを仕上げる。 デザイン画に必要な道具の準備。	30分
23回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
24回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
25回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
26回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
27回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
28回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
29回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
30回 桐山	デザイン画を描く。 完成。	デザイン画を完成させ提出。 授業の資料をまとめる。	30分

# 近代日本モード史

梅谷 知世

服飾表現学科 2年 後期 必修 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

「今」の日本のファッションは、明治時代以降に本格的に導入された洋服が一般的となる一方で、伝統的な衣服とされる和服は非日常的な装いとして冠婚葬祭やイベントなどで着用されています。本授業では、近代化の過程で洋装がどのように浸透し、和装がどのように変容したかについて、社会・文化的背景との関連から捉え、現代に通じる日本のファッション文化の形成過程を明らかにします。講義形式で進めますが、授業中に取り上げるテーマについてグループでのディスカッションも行います。

## 到達目標 (学修成果)

- ・日本のファッションの近代化について、洋装の浸透と和装の変容の両面から理解を深める。
- ・ファッションを通して、その時代の社会や人びとの精神性を読み解く視点をもつことができる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目の卒業認定科目です。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内課題について授業時にフィードバックを行います。授業内容についての質問や相談には随時対応します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

## 参考文献

授業時に紹介します。

## オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

## 備考

近代日本の文学作品を読んだり、近代日本の絵画や工芸作品に触れたりする機会を持つよう心がけてください。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	イントロダクションー授業の概要・目的などについての説明	シラバスを確認し授業内容を理解する。	30分
2回 梅谷	明治時代の洋装① 幕末・文明開化期の洋風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
3回 梅谷	明治時代の洋装 近代国家建設と洋服導入	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
4回 梅谷	明治時代の洋装③ フロックコートとハイカラ	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
5回 梅谷	明治時代の洋装④ 鹿鳴館時代の女性の洋装と束髪	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
6回 梅谷	和装の近代化① 洋装品をとり入れた和装	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
7回 梅谷	和装の近代化② 女学生の袴姿	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
8回 梅谷	和装の近代化③ 着物文様にみる伝統と革新	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
9回 梅谷	和装の近代化 百貨店による流行の創出	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
10回 梅谷	大正時代の洋装 女性の洋装の広がり	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
11回 梅谷	モダン都市文化とモダンガールの装い	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
12回 梅谷	戦時中の衣生活と戦後の洋裁文化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
13回 梅谷	戦後の着物の変遷	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
14回 梅谷	1960年代以降の社会とファッション	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、理解を深める。	120分

# マーケティング・データサイエンス論

田中 康寛

服飾表現学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

現在企業は、経営をはじめ、すべての業務をデータから得られることで、次フェーズに進んでいると言っても過言ではありません。それは事業の予見精度向上、新たな事業への展開の支援など様々なことに使っています。そのような環境の中で、社会を歩んでいくためには、データをいかに利活用するか、はたまた生成AIが登場してから、瞬く間にデータ利活用の主役になっていて、その生成AIを理解していくことは、ビジネスに関係する以上は必須となります。データサイエンスとAIを理解し、自分でどのように利活用できるかなど考えることは必須です。それらを体感できることを目指します。

### 到達目標(学修成果)

データサイエンス、AIなどに関して、自分の言葉で説明できるようになること。そして企業経営にどのように役立つのかを考えていきます。その中から自分のアイデアを整理します。そのプロセスがいかに重要かを感ぜられるようにします。重要なことは自分の考えで、自分の言葉でそのアイデアを説明できることです。そのためには各種ツールなどが使えることが目的でなく、いかに利活用するか、そして、仮にAIが出してきた事項も、すべて人間が判断し決着していくという最も重要な点も体感します。

### 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

当講義は、必須科目となります。内容は暗記中心ではなく「考える」を中心に行っていきます。そのためディスカッションや講義の中での発言など、自分の言葉で考えていくことが重要です。その延長線にテストも存在します。テストも、自分の考えを表現してもらおう形態となります。

### フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

テストに関しては各自に添削して返却をします。もちろん全体の解説を行います

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	15%
外部評価・検定試験結果	5%

### 教科書

データ思考が未来を変える 織研新聞社 基礎的なことは、この教科書を予習復習に活用してください。適宜資料を配布します。

### 参考文献

必要に応じて、紹介をしていきます

## オフィスアワー・研究室

講師控室に在籍します

## 備考

この講義で学ぶことは、とても変化が激しいです。常に、自分のアンテナを張り情報を取得するようにしてください、予習復習の時間はそれほど長い時間としていませんが、アンテナをはり情報を得るということ意識してください。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田中	オリエンテーション 講義の進め方を説明します データサイエンスとは何を説明します	講義の進め方は意識できるように理解、データサイエンスは何かを自分で説明できるように。	40分
2回 田中	データサイエンスのビジネス上での重要性を説明します	事例も含めて説明されたことを整理し、自分であればアイデアを創出してみます	50分
3回 田中	DX(データサイエンスが中核)を説明します。DXにおいてデータサイエンスが重要かを考えていきます	DXとは何かを説明できるようにします	50分
4回 田中	統計について学びます 基礎的な内容になりますが、データを見るスタート地点煮立てることを目標とします	統計の基本を思い出します	45分
5回 田中	AIとは何かを説明します。さらにその使い方を説明します	AIの使い方を整理し、AIを使うアイデアを考えます	55分
6回 田中	AIの活用事例を説明します	前週考えたアイデアをもとに加えていきます	45分
7回 田中	実習:統計概論 基本的なことをExcelを使いながら理解します	学んだ事項を整理します	40分
8回 田中	実習:Excelを使って回分析などを行います	回帰分析の意味を理解します	50分
9回 田中	実習:AIの基本的な使い方を学びます	どのようことができたかを確認します	50分
10回 田中	実習:AIを使います。実際に企業で使っているような例題を行います	AIが出してきた結果をどのように考えたかを整理します	45分
11回 田中	アパレルメーカーの販売データを見ながら、グループディスカッションを行います。	内容を整理りします	55分
12回 田中	11回で使ったデータをもとに、さらに必要なデータ項目などディスカッションし発表をします	ディスカッションで出てきたデータ項目や意見を整理します	40分
13回 田中	データの種類と収集の方法をIoTなどを中心に説明します 2回目テスト	各種データを整理します。何に使えるのかも含め整理します	60分
14回 田中	データサイエンス、AIを利活用する上で、気をつけるべきこと	気をつけるべきことを整理します。当校でのAIを使う場合の倫理規定を熟読します	50分
15回 田中	まとめ 必ず覚えてほしいことを再度話します	全体を通じて覚えるべきことを復習します	60分

# 衣装デザイン・制作

大町 志津子、瀧川 美佐子

服飾表現学科 2年 後期 選択必修（2単位 実験実習）

## 授業の方針・概要

この授業の目的は衣装表現に必要な知識と表現力を学び、造形技術の基礎力・応用力を身に付けることにある。担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導により各自の衣装に対する表現力を養う。衣装表現に必要な知識と表現力を写真や映像などで学び、造形していくための基礎力、応用力、技術力を養う。

## 到達目標（学修成果）

西洋服飾史の知識を得て時代衣装を把握し、イメージ作りの基礎を身につける。実際にいろいろな方法で形にし、ディスカッションやプレゼンテーションができるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科の衣装デザイン専攻の学生にとって必修であり、衣装表現者としての知識と技術を学ぶ科目です。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について随時解説と講評を行う

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

必要に応じて資料を配布する。

## 参考文献

西洋コスチューム大全 ジョン・ピーコック、ドレメ式原型 PATTERN MAKING  
 三省堂図解ライブラリー ファッションの歴史 ピエロ・ヴェントゥーラ/文・画  
 オフィスアワー・研究室  
 日野校舎G101 オフィスアワー：水曜日13:00-14:00

## 備考

進度により日程及び内容を変更する場合もある。 感性を磨きより広い視野を持つ事を各自心がける。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大町	オリエンテーション ロココ時代の時代背景とスタイルについて講義・デザイン考案	予習：シラバスを確認する 復習：時代のリサーチ	30分
2回 瀧川	原型制作1	予習：参考文献を見ておく 復習：制作を進める	30分
3回 大町	デザイン画（模写1）、デザインに適した生地や素材の説明、 デザイン相談 1	予習：デザイン画レポート作成 復習：デザイン画レポート修正	30分
4回 瀧川	原型制作2	予習：製図完成 復習：制作を進める	30分
5回 大町	映画動画を観て衣装表現を学ぶ、デザイン相談 2 デザイン画（模写2）	予習：課題を進める 復習：レポート、デザイン画修正	30分
6回 瀧川	トワール制作・補正	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
7回 大町	イメージトレーニング、デザイン相談 3	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
8回 瀧川	コルセット製図、コルセット生地制作	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
9回 大町	校外研修（舞台、映画、展覧会鑑賞など）で衣装を総合的に学 ぶ、レポート提出	予習：題材について知識を得る 復習：レポート作成	30分
10回 瀧川	コルセット制作	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
11回 大町	映画動画を観てイメージトレーニング、デザイン相談 4	予習：題材について知識を得る 復習：レポート作成	30分
12回 瀧川	ストマッカー制作	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
13回 大町	トータルイメージに向けての考察	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
14回 瀧川	帽子・チョーカー制作	予習：プレゼンテーションの準備 復習：作品の修正	30分
15回 大町	撮影・フィードバック・講評	予習：撮影準備	30分

# スタイリング演習

数井 靖子、中村 のん

服飾表現学科 2年 後期 選択必修 ( 2単位 演習 )

## 授業の方針・概要

授業担当者の40年以上にわたるスタイリスト経験を通して実感してきた「もっとも必要な基礎知識」を学びます。メディアにおける各分野のプロたちからのあらゆるニーズに応える立場のスタイリストにとって、流行や時代の変化に敏感であること、さらには流行が生まれた時代背景を知っておくことは重要です。二次次では、リバイバルが注目されている現在のファッションにつながる過去のストリートファッションのリアルや、それらが生まれた時代や社会背景について豊富な資料を通して深く学び、自身のゆるぎない知識とすることを目指します。

## 到達目標 (学修成果)

時代ごとの流行・ファッションの基本を把握できる能力を身につける。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。より専門性を高めて学修していく上での基礎科目になります。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

感想文は添削して返却する。各提出作品、レポートに評価を与え、授業内外で返却時にフィードバックをする。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

現時点では指定なし。授業時に指定する可能性もあり。

授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は一冊のファイルにまとめる。

## 参考文献

必要に応じて授業時に指示。学生に購入を求める場合もあります。「ストリートトラッド」(集英社) 「ファッションスタイルクロニクル」(グラフィック社)

## オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎B203

## 備考

服飾表現演習のスタイリングを2回以上出席者のみ履修可。写真展鑑賞、撮影等、フィールドワークの内容により学外に出ることもあります。学生が準備する備品に関しては、授業時に告知します。進展により、日程及び内容を変更する場合があります。スタイリスト関連のプロをゲスト講師とした講義を行うこともあります。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	必要時間
1回 中村	【ファッションヒストリー】50年代「フィフティーズファッション」映画等を資料に時代背景とファッションの関係を講義	復習：感想レポート、50年代ファッションに関する資料を独自に探す	90分
2回 中村	【ファッションヒストリー】60年代 「スウィングロンドン」	復習：感想レポート、60年代ファッションに関する資料を独自に探す	90分
3回 中村	【ファッションヒストリー】60年代 プレタポルテの始まり「カルダン」	復習：感想レポート、60年代ファッションに関する資料を独自に探す	90分
4回 中村	【ファッションヒストリー】60年代 「モッズスタイル」	復習：感想レポート、モッズファッションに関する資料を独自に探す	90分
5回 中村	【ファッションヒストリー】70年代 「ヒッピースタイル」	復習：感想レポート、ヒッピーファッションに関する資料を独自に探す	90分
6回 中村	【ファッションヒストリー】70年代 「グラムファッション」	復習：感想レポート、グラムファッションに関する資料を独自に探す	90分
7回 中村	【ファッションヒストリー】70年代 「パンクファッション」	復習：感想レポート、パンクファッションに関する資料を独自に探す	90分
8回 中村	【ファッションヒストリー】70年代まとめ「70年代始まり～終わり」	復習：感想レポート、この時代に関する資料を独自に探す	90分
9回 数井	【ファッションヒストリー】80年代「音楽シーンにみるファッション」	復習：感想レポート、この時代に関する資料を独自に探す	90分
10回 数井	【ファッションヒストリー】70年代～80年代にかけて「ニューヨークのアートシーンとファッション」	復習：感想レポート、この時代に関する資料を独自に探す	90分
11回 数井	【ファッションヒストリー】70年代～80年代にかけて「ファッションの潮目が大きく変わった時期」について	復習：感想レポート、この時代に関する資料を独自に探す	90分
12回 数井	【ファッションヒストリー】90年代～2000年代「東京のストリートファッション」	復習：感想レポート、この時代に関する資料を独自に探す	90分
13回 中村	スタイリング実践	予習：衣装集め 復習：感想レポート・ボードにまとめる	90分
14回 数井	時代別ファッションのまとめ・時代別マップの制作	復習：ボード制作・資料集め	90分
15回 数井	時代別マップの制作	予習：ボード制作・資料集め	90分

# ビジュアルマーチャンダイジング演習

中島 ゆう子

服飾表現学科 2年 後期 選択必修 ( 2単位 演習 )

## 授業の方針・概要

VMDの基本を理解し、売り場のつくり方、店舗の動き、販売商品、流行カラー、トレンド分析を含めて売り場つくりの基本を学修し、魅力的な売り場の空間を組立てる。1/10サイズのマケットを作成し、店舗の空間スペース、VP、IP、PPなどを学修する。マケットを活用して、プレゼンテーションを実施。授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

## 到達目標 (学修成果)

実務として売り場でディスプレイ及びVMDを作成できる人材を学修する。魅力的な店舗や展示空間を想定し視覚的に商品の世界観を伝えることができる能力のある人材育成を目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ビジュアルマーチャンダイジング専攻学生の卒業認定に必要な科目です。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題提出のフィードバックは、授業内で講評、解説し返却します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

改定第3版国家検定 商品装飾展示技能検定 学科編 実技編 著者：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会

## 参考文献

なし

## オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは、日野校舎B棟 B205 B101

## 備考

ビジュアルマーチャンダイジング検定に向けて学習します。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	必要時間
1回 中島	基本用語を暗記。ディスプレイの知識を高める。動線、ファザード、デッドスペース、フォーカルポイントなど。	予習：基本用語の暗記	45分
2回 中島	ネットを使いVMDイメージコラージュ6分類を作成。カラー、ナチュラル、クリスマスなどに6分類する。	復習：完了しなかった課題は自宅で作成。	45分
3回 中島	PCを使いイメージコラージュの作成。それぞれ学生と打合せし、内容確認、及び修正する。	復習：完了しなかった課題は自宅で作成。	45分
4回 中島	イメージコラージュ本日提出。学生より内容確認、説明を聞く。今後リアル店舗のミニチュア版作成のテーマを決定。	予習：ミニチュア店舗のイメージに必要な小物を考える。	45分
5回 中島	市場調査実施。秋冬の売り場がどうなっているか、ディスプレイチェック。原宿、渋谷地区の商業施設を調査。	復習：市場調査のレポート作成。	45分
6回 中島	VP計画書作成。展開テーマ及びコンセプト、展開期間、ディスプレイ雑貨、陳列方法、展開カラー、スケッチ作成。	予習：マケット作りの準備。	45分
7回 中島	店舗マケット作成① スケジュール表作成。予算表作成。	予習：100円ショップでミニチュア店舗に使う小物を購入。	45分
8回 中島	店舗マケット作成②魅力的な店頭、驚きが伝わる画期的なVPを作成する。床、壁面、天井の決定。	復習：考えた店舗イメージにずれがないか事前にチェックする。	45分
9回 中島	店舗マケット作成③ 1/10サイズで作成。商品の決定。必要なアイテムをネットからセレクト。	予習：床材、壁面などの材料購入。	45分
10回 中島	店舗マケット作成④ 店舗、什器、サイズを決定し、パネルカット作業の実施。	予習：100円ショップでミニチュア店舗に使う小物を購入。	45分
11回 中島	店舗マケット作成⑤ 床、壁、天井素材をパネルに貼る。什器、ハンガーの作成。	復習：自宅ハンガーなどの小物什器作成。	45分
12回 中島	店舗マケット作成⑥ 学生とディスカッション。イメージカラーを特定し、店舗で販売する商品の選出。	復習：自宅棚、ラック、マネキンを作成。	45分
13回 中島	店舗マケット作成⑦ 各学生とのディスカッション及び修正。マネキン用VPコーディネート、雑貨などの選出。	復習：VP店舗を完成させる。	45分
14回 中島	店舗マケット店舗⑧ 完成までの最終仕上げ 次週のプレゼン練習。学生とディスカッション、修正。	予習：プレゼンの練習	45分
15回 中島	プレゼンテーション実施。計画書、イメージコラージュを使いプレゼンをする。講評とディスカッション。	復習：プレゼンの反省及び修正ポイントの見直し。	45分

# メディア表現

角倉 典彦、澤野 洋士

服飾表現学科 2年 後期 選択必修 ( 2単位 演習 )

## 授業の方針・概要

市販カメラやスマホでHi-visionや4K画質の撮影ができ、パソコンで編集をしてTV番組や映画、Web動画を製作することが可能になってきた。しかし機材やソフトは単なるツールであり、自身の意図やイメージを表現する映像メディアを制作するには、技術はもちろんだが文法やシステムとしての映像メディアの仕組みや方法論を理解しなければならない。本講座はそれらの学修を、テレビ番組・VP制作の実務経験者や現役の映像ディレクターも講師に交え、講義と演習/実習によって組み立てていく。またプレゼンテーションメディアとしてのファッションショーについて演出方法とともに考察する。

## 到達目標 (学修成果)

どんな企画を立て、どんな撮影をしたら、そしてどんな編集/MAをすればどんな作品(映像・メディア)が完成するのが理解できる「映像・メディアを作り出す基礎能力」を修得することを目標とする。同様にファッションショーの基本的な演出についてもその概要を把握する。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

メディア表現専攻学生の卒業要件科目で、必修科目である。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

常時質問等を受け付ける。また課題作成発表の際にはその都度講評指導する。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

## 教科書

なし、プリント等随時配布

## 参考文献

その都度指示

## オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示。研究室：日野校舎B105映像・メディア表現研究室 連絡：教務課

## 備考

日頃からスマホでも良いのでカメラを持ち、構図を学習/考察すること。また自分の好きな映画やテレビ番組、CM、Web動画などを観て、構成、構図、カット割りなどを意識しながら研究すること。様々なファッションショーについても調査研究すること。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	必要時間
1回 角倉	ガイダンス(授業の目的と進め方)。動画制作のプロセス。(澤野)課題1の提示: ワンカットで伝える制限された表現	復習: 課題1撮影	60分
2回 角倉	動画制作の理論と文法。課題1のプレゼン発表と講評。(澤野)課題2の提示: インタビュー動画の制作。	復習: 課題2の企画/撮影プラン作成	60分
3回 澤野	撮影基礎1: ショットの種類とカメラワーク。撮影機材の取り扱い方と撮影手順。課題2の撮影/編集。	予習: 使用カメラのマニュアル熟読 復習: 撮影練習	60分
4回 角倉	(澤野)課題2の完成プレゼン発表と講評。課題3提示: 写真表現	復習: 課題2の修正作業。	60分
5回 角倉	目黒大学祭前日(千代崎)多カメラによる撮影システムの構築の	復習: 配線システムの理解	30分
6回 角倉	目黒大学祭1日目(千代崎・澤野)各種ファッションショー撮影/収録の実践	復習: 撮影データの整理	30分
7回 角倉	大学祭2日目(千代崎・澤野)各種ファッションショー撮影/収録の実践	復習: 撮影データの整理	30分
8回 澤野	課題3の完成プレゼン発表と講評。修正作業(追加撮影、修正編集、音声効果等)	復習: 完成作業とサーバーへの格納	60分
9回 澤野	撮影基礎2: レンズの種類と効果、被写界深度、各種三脚の使用方法。課題4提示: ファッションショー演出プラン	復習: 課題4のリサーチ、企画立案	60分
10回 角倉	卒業生プロによるダンスビデオの制作。(千代崎・澤野)グループ制作。	復習: グループ制作の修正	60分
11回 角倉	著作権特別講義。ショーやTV番組、WEB動画などの各種権利。(澤野)課題4のプレゼン発表と採択提案討議。	復習: リサーチと企画提案作成	60分
12回 澤野	(角倉)グループ制作/ショーやビデオなどのファッションプロモーションの企画立案と制作1。討議とリサーチ	復習: 企画準備と問題点の抽出	60分
13回 澤野	(角倉)グループ制作/ショーやビデオなどのファッションプロモーションの企画立案と制作2。機材や工程などの制作準備	復習: 制作準備	60分
14回 澤野	(角倉・千代崎)グループ制作/ショーやビデオなどのファッションプロモーションの企画立案と制作3。制作実施	復習: データ管理と完成作業	60分
15回 角倉	(千代崎・澤野)グループ制作/ショーやビデオなどのファッションプロモーションの企画立案と制作4。完成物制作と講評。	復習: 各種記録の整理	60分

# アパレル素材論

田口 雅子

服飾表現学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

アパレルに使用される布に焦点を当て、基本的な知識、専門用語を理解するために説明する。応用力を育成するために、実物サンプルを提示しながら解説し、理解を深める。素材に関する知識と素材そのものが持つ手触りや布の表情など、服飾造形を作り出す素材に関心を寄せ、布の種類や構造を理解し、アパレル素材の基本的な知識を修得することを方針とする。

## 到達目標(学修成果)

基本的な素材の名称や性質、専門用語、織物やニット生地に関する知識を修得することができる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目で、全コース卒業要件科目となります。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回授業終了時に小テストを行い、翌週答え合わせをする。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

「アパレル素材の基本」織研新聞社

## 参考文献

「テキスタイル用語辞典」テキスタイル・ツリー 成田典子著

## オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室(3011)

初回授業で提示

## 備考

なし

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田口	ガイダンス ビデオ視聴	(予習)衣服材料学で学んだ内容を復習する	30分
2回 田口	何を着ているのか 素材について 繊維 糸 布の製造プロセス	(復習)自分の着ている衣服の素材を調べる	30分
3回 田口	布の分類 織物とは 織物の三原組織	(復習)身の回りにある布製品から、織物でできているものを見つける。	30分
4回 田口	織物の種類と織物組織 規格、物性について	(復習)衣服に使われている織物の組織を確認する。	30分
5回 田口	綿について 綿織物	(復習)衣服の市場調査をし、綿織物の手触りや風合いを観察する。	60分
6回 田口	綿織物	(復習)綿の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	60分
7回 田口	ウールについて ビデオ視聴	(復習)衣服の市場調査をし、毛織物の手触りや風合いを観察する。	60分
8回 田口	毛織物	(復習)毛の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	60分
9回 田口	絹と化合織について 化合織織物	(復習)絹や化合織織物を市場調査し、手触りや風合い、アイテムを確認する。	30分
10回 田口	ニット 緯編	(復習)ニット製品を市場調査し、特徴を理解する。	30分
11回 田口	ニット 経編・レース	(復習)経編の製品を調査し、その特徴やアイテムを確認する。	30分
12回 田口	不織布・皮革	(復習)革製品(含む人工皮革等)を観察し、特徴や用途を捉える。	30分
13回 田口	染色・加工	(復習)授業内で聞いた内容に該当する衣服を探し、改めてその特徴を理解する。	30分
14回 田口	産地・復習	(復習)全国にある産地を復習する。	30分
15回 田口	まとめ 課題(試験やレポート等)のフィードバックを行う	(復習)授業内容を振り返り、まとめをする。	30分

# 画像設計演習

白木 ゆみ香

服飾表現学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

画像設計演習での使用ソフトは、Photoshop、4D-BOX (素材設計)、Power Pointの計3つです。それぞれのソフトの基本操作や特徴を学び、実際に作品を制作しながら技法を習得し、表現力の拡大を図ります。

## 到達目標 (学修成果)

それぞれのソフトを活用し、連動させながら、デザイン考案やプレゼンテーションが出来る技術を身につけることを目標とします。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。専門コースに拘らず選択することが出来、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

- ・ 作品課題の提出は、PC関係はデスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。
- ・ 指定された日時までに提出のこと。元データは各自で保存しているため、返却はなし。
- ・ 試験はなし。・プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

必要に応じてデジタルテキストや資料配布。  
Fashion Ruler (教材) は各自購買部にて購入してください。

## 参考文献

なし

## オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30~17:00 【後期】木 15:30~17:00

【研究室】デザインCG研究室 (研究棟1F)

## 備考

進度により、日程および内容の変更あり。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 白木	オリエンテーション 4D-BOX (素材設計) ・基本操作 ボルカ	予習: シラバスを読む。 復習: ノートの整理。	30分
2回 白木	4D-BOX (素材設計) 基本操作 ストライプ、MIX	復習: ノートの整理。	30分
3回 白木	4D-BOX (素材設計) 基本操作 織り柄	復習: ノートの整理。	30分
4回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し	予習: 図書館・インターネットにて資料収集。	30分
5回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し ハンガーイラスト4体以上。	復習: ノートの整理。	30分
6回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し ハンガーイラスト4体以上。	復習: ノートの整理。	30分
7回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習: ノートの整理。	30分
8回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習: ノートの整理。	30分
9回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習: ノートの整理。	30分
10回 白木	Photoshop 絵型の色や柄のバリエーションを作成。	復習: ノートの整理。	30分
11回 白木	Power Point 絵型のレイアウト、画像作成。	復習: ノートの整理。	30分
12回 白木	Photoshop テキストスタイルのレイアウト、画像作成。	復習: ノートの整理。	30分
13回 白木	Power Point プレゼン資料作成。	予習: 資料準備。	30分
14回 白木	Power Point プレゼン資料作成。	予習: 資料準備。	30分
15回 白木	Power Point 各自の作品をプレゼンテーション。講評。	予習: プレゼン準備。	30分

# ドローイング

瀬古 徹

服飾表現学科 2年 後期 選択 ( 1単位 実験実習 )

## 授業の方針・概要

1点ずつ丁寧に「絵」=「作品」を制作していく。テーマは色彩による空間表現である。闇雲に筆を走らせるのではなく、描画の技法やシステムをテーマに作品を制作しながら、徐々に「自分の世界」をつくり上げていく。デザイン画やイラストレーションへ向かうだけでなく、発想や構想などのイメージクリエイションのウォーミングアップに展開することを期待する。

## 到達目標 (学修成果)

1. 「抽象的」なものの見方 (現象的ではない) を身に付けるきっかけをつくる
2. 型にはまらないフリースタイルな発想法を発見する
3. 1.2.を導き出すための制作の「方法論」、具体化するための「技法」を身に付ける
4. 手ごたえを感じるディテールの集積によって自分の表現の「世界」をつくりあげる実践力を身に付ける

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、選択科目である。服飾表現における感性の精鋭に活かされる科目として位置づけている。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回の提出作品の採点後、次回課題授業途中に、作品の全体的な評価点、問題点を優秀作品の抜粋により解説する。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

授業の進行に合わせて、必要な場合プリントを配付する

## 参考文献

展示会の案内など、必要に応じて授業時に指示

## オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示 連絡研究室 大学表現演習研究室 (第3校舎1階)

## 備考

[A.L.] = アクティブラーニング

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 瀬古	オリエンテーション カリキュラムの流れとその構造、材料、技法の説明など	予習; シラバス内容の確認 復習; 鉱物系顔料ガッシュ, 細密描画用筆の準備(提案)	30分
2回 瀬古	「自画像-グラフィティ-から-」 2トーンによる形態の分析 [技法: ガッシュ, 不透明色の塗り重ね] [A.L.]	予習; 自らの頭部のスタイリング 復習; 鉛筆による頭部のドローイング	60分
3回 瀬古	「ガッシュ(黒)による塗り分け作業 [A.L.]	予習; 頭部の立体形態の確認 復習; ファッション雑誌よりの写真の収集(モチーフ)	60分
4回 瀬古	「色面による写真の分析」 3トーンによる形態の選択, 強調, 省略 [技法: ガッシュ, 不透明色の塗り重ね] [A.L.]	予習; 色彩理論を基にした色彩プランニング 復習; 画像の転写	90分
5回 瀬古	「前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習; 明部、暗部の作成	90分
6回 瀬古	「 [A.L.]	復習; 作品の完成	90分
7回 瀬古	「オートマティズムによるドローイング」 偶然からの出発 [技法: ガッシュ, “地”づくりと細密表現] [A.L.]	予習; 柔らかい鉛筆の準備 復習; “描画”の進行とその検証	30分
8回 瀬古	「偶然からの出発、選択 前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習; “描画”の進行	90分
9回 瀬古	「偶然からの出発、選択、構成 [A.L.]	予習; モチーフとしての雑誌写真の準備 復習; 画面際への意識、完成	90分
10回 瀬古	「ファッションフォトコラージュとそこからの制作」 イメージのsampling & remix [技法: mixed media] [A.L.]	復習; ファンデーション後、モチーフの転写	90分
11回 瀬古	「 [A.L.]	復習; “描画”の進行とその検証	60分
12回 瀬古	「 前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習; “描画”の進行とその検証	60分
13回 瀬古	「 [A.L.]	復習; 「作品の完成」について	60分
14回 瀬古	「オートマティズムによるドローイング」 “偶然”から作品の発想へ [技法: コラージュ, ガッシュ] [A.L.]	予習; 人体パーツ写真コピー準備 復習; 人体骨格を意識したパーツ配置	45分
15回 瀬古	「まとめ “作品”としての成立, “表現”のありかたに関して。 前回作品の講評, フィードバック [A.L.]	予習; ドライブラシ技法の練習 復習; ドローイングの専門への応用を考える	45分

# 和服構成論・実習

平塚 由美子

服飾表現学科 2年 前期 選択 ( 1単位 実験実習 )

## 授業の方針・概要

日本の伝統衣装である和服（平面構成）の形状を理解し、手縫いによる大裁ちひとえ長着であるゆかたの製作過程でその技法を知りTP0を身につけることで、伝統文化の継承力を養うことができる。

## 到達目標（学修成果）

和服（きもの）の裁縫を学び進めていく為の総ての手縫いを学び正確に美しく縫う技法を習得することができる。  
和装のマナーを学び多種類の着物を学ぶ中で素晴らしい日本の伝統工芸に触れることができる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

前期授業の感想と、確認テストの解答は最終日に行う。いつでも質問出来るようメールを繋いでいる。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

やさしい和裁 清水とき著 株式会社 日本ヴォーグ社

## 参考文献

作成した詳細の製作手順資料を使用

## オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本館1階） 出講日 火曜日

## 備考

実習 は実習（前期の授業）を終了していること

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 平塚	オリエンテーション 和服の基礎と特徴 各名称の説明 大裁ちひとえ長着（ゆかた）の製作についての説明	教科書・裁縫道具の準備（購買部など）	30分
2回 平塚	年間授業計画、裁縫道具の説明 運針についての説明 基礎縫いの準備と実習	ゆかた地の準備（購買部で販売） 教科書 基礎縫いP38～45を読む	30分
3回 平塚	ゆかた地の下準備（水通し・地直し・検品）の説明 教科書・裁縫用具の確認 基礎縫い見本標の製作 次回提出	ゆかたの下準備（水通し・地直し・検品） 基礎縫い見本標の製作	60分
4回 平塚	各自の採寸 寸法表に記入しておく（毎回必ず持参する） ゆかた地の確認と見積もりをする	他者のゆかたなら採寸しておくこと 教科書 寸法P52～53を参照	30分
5回 平塚	各自の寸法で身頃・袖・衿などの確認をし見積もる 後身頃と袖の柄合わせをする 袖の裁断	教科書 裁ち方P54～55を読む そでの作り方はは男女別	30分
6回 平塚	袖の丸みの型を作る 袖のしるし付けの説明 左右の内袖に目印を付ける 袖底の二度縫いをする	教科書 袖の縫い方P56・P60～62 袋縫い・丸みを縫う	30分
7回 平塚	丸みの絞り方と縫い代の綴じ方の説明 袖口の三つ折りぐけをする 両袖の完成 次回両袖提出	両袖を完成させる	60分
8回 平塚	身頃の縫い方の説明 寸法表を基に身頃4枚重ねてしるし 後身頃から前身頃にしっかりしるしをつける	教科書 しるしのつけ方後ろ身頃P79 前身頃P58	30分
9回 平塚	身頃のしるし付けの完成と背縫いの二度縫いの説明 内揚げの説明	背縫い(二度縫い)を完成させる	60分
10回 平塚	背縫い・内揚げの完成を目指す 女物は後ろのみ揚げをするが男物は前後身頃に揚げをする	背縫い・内揚げを完成させる	60分
11回 平塚	脇の縫い方の説明と縫い代のくけ方の説明 縫い代は個人で違うのでくけ方も変わる	教科書 脇縫いP84を読む	30分
12回 平塚	脇縫い・縫い代のくけの完成を目指す	肩当て・いしき当て用の晒を準備する 脇・くけ縫いを完成する	60分
13回 平塚	肩当て・いしき当ての作り方と付け方の説明 次回の確認テストの範囲提示 完成度確認	脇の完成を目指す テストの準備をする ゆかた着付けの準備(予備あり)	60分
14回 平塚	確認テスト ゆかた着付けの講習 各部位の確認しながら着てみよう	ゆかたの着付けの練習をしよう	60分
15回 平塚	前期の纏めとテストの解答と反省 肩当てをつける 衿の柄合わせと衿の部分と切り離す	衿のしるし付けP59を見ておく 夏休み中に遅れを取り戻しておこう	60分

# 和服構成論・実習

平塚 由美子

服飾表現学科 2年 後期 選択 ( 1単位 実験実習 )

## 授業の方針・概要

日本の伝統衣装である和服（平面構成）の形状を理解し、手縫いによる大裁ちひとえ長着であるゆかたの製作過程でその技法を知りTP0を身につけることで、伝統文化の継承力を養うことが出来る。

## 到達目標（学修成果）

和服（きもの）の裁縫を学び進めていく為の総ての手縫いを学び正確に美しく縫う技法を習得することが出来る。  
和装のマナーを学び多種類の着物を学ぶ中で素晴らしい日本の伝統工芸に触れることが出来る。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

前期授業の感想と、確認テストの解答は最終日に行う。いつでも質問出来るようメールを繋いでいる。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

やさしい和裁 清水とき著 株式会社 日本ヴォーグ社

## 参考文献

作成した詳細の製作手順資料を使用

## オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本館1階） 出講日 火曜日

## 備考

実習 は実習（前期の授業）を終了していること

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 平塚	前期に引続き浴衣の製作 おくみの完成	教科書P67	30分
2回 平塚	おくみの完成と衿下から裾の三折りぐけと額縁の説明	教科書P68-69	30分
3回 平塚	おくみと衿下から裾の三折りぐけの完成	実習予定まで終わらせる	60分
4回 平塚	共衿と本衿の柄合わせとしるしつけをする 共衿を本衿に付ける	教科書P70-71	30分
5回 平塚	しるしと寸法の釣り合いを見て衿を付ける 三衿芯を作る	教科書 P72	30分
6回 平塚	衿を縫い付けたら三衿芯を付けて衿先を作る	教科書 P75	30分
7回 平塚	衿先が両方出来たら本ぐけで衿の形にとじていく	P70-73までを良く読む	60分
8回 平塚	袖付けをする 男物の作り方はP118-126参照 かんぬき留めをする	教科書 P74 P75	30分
9回 平塚	肩当ての始末と 居敷当を付ける 総仕上げをする 着物の本だたみを学ぶ	P64-65 P185	60分
10回 平塚	(着物学) 和服の種類を見てさわって学ぶ講義 第一回 寿の和服	資料参照 毎回レポートを書いておく	60分
11回 平塚	第二回 おしゃれ着、遊び着としての和服	資料参照	30分
12回 平塚	第三回 成人式 卒業式に着る和服 苦しくない着付けられ方や着こなしの注意を学ぶ	資料参照	60分
13回 平塚	第四回 特別な着物 貴重な衣装を見てみよう 確認テストの範囲 次回レポートと寸法表の提出	資料参照 レポートを完成させておく	60分
14回 平塚	確認テスト 自作のゆかた着付けの講習 各部位の確認しながら着てみよう	ゆかたの着付けの練習をしよう 自作の着心地を体験しよう 着物遊びの準備	60分
15回 平塚	テストの解答 私の着物遊び	着物を使って楽しく自分らしい着物遊びをしよう	60分

# 衣服管理

三代 かおる

服飾表現学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

衣服は着用による汚れを回復させること(洗濯)と製品本来の性能を維持すること(手入れ、保管)を繰り返した後、廃棄あるいはリサイクルされるという一生を送る。本講義では衣服を管理するために必要な洗浄理論や適切な保管方法を中心に学ぶ。市販されている洗濯関連商品と衣服により、実生活と結び付けてイメージしやすいように配慮する。

## 到達目標(学修成果)

市販の衣料用洗剤の種類や成分表示、衣類の取り扱い絵表示、洗濯機や乾燥機の機能に関心を持ち、衣服に適した洗濯や保管を行うことで、最初のきれいで美しい状態を保持し、長く大切に衣類を扱える方法を身につけることを目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり、服飾造形関係の基礎を学習する科目。卒業要件科目。教職課程履修者は必修科目となる。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

洗剤プリント、レポートを添削返却、解説、また授業内容課題も適宜行い理解度を確認する。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

増子富美ほか著 生活科学テキストシリーズ 被服管理学 朝倉書店 2012

## 参考文献

授業内で適宜紹介する。

## オフィスアワー・研究室

前期 水曜日(10:30~10:40)第2校舎小ホール

後期 水曜日(12:10~12:50)第3校舎講師控室

## 備考

必ず教科書と配布資料を持ってくる。提出物の期日は守ること。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 三代	ガイダンス 衣服管理とは 洗濯に関する知識の確認	予習:シラバスを読む。日常で使用している洗剤の確認をする。	30分
2回 三代	衣服の汚れ 衣服の機能との関係	復習:授業資料の確認をし、衣服の機能を理解する。	30分
3回 三代	水と洗剤 硬度成分の影響	復習:教科書を確認をし、硬度成分の影響を理解する。	30分
4回 三代	衣服の洗浄 洗浄に関わる要因	復習:教科書を確認し、洗浄に重要な要素を理解する。	30分
5回 三代	界面活性剤 分類と構造 洗剤プリント提出	予習:家庭で使用している洗剤成分を調べる。	30分
6回 三代	配合剤 種類と作用	復習:教科書を確認し、界面活性剤と配合剤を理解する。	30分
7回 三代	合成洗剤と環境 現在までの変化	復習:教科書を確認し、合成洗剤の変遷を理解する。総復習する。	120分
8回 三代	中間試験	復習:試験問題を振り返る。	30分
9回 三代	洗浄のメカニズム	復習:教科書、配布プリントを参考にして、洗浄作用を理解する。	30分
10回 三代	実験:界面活性剤の作用 レポート提出	予習:界面活性剤の作用を理解しておく。	30分
11回 三代	家庭洗濯	復習:教科書を確認し、洗濯条件を理解する。	30分
12回 三代	商業洗濯	復習:教科書を確認し理解する。	30分
13回 三代	漂白と増白	復習:教科書を確認し、漂白剤の使用法を理解する。	30分
14回 三代	衣服の仕上げと保管	復習:授業内容すべての総復習をして理解を深める。	120分
15回 三代	まとめ 課題(試験やレポート等)フィードバックを行う	復習:試験問題を振り返る。	30分

# 染色化学

中村 弥生

服飾表現学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

衣服は染色と加工によって、美しさ、快適さが与えられる。染色化学では、アパレル生産において染色加工がどのように行われるか、その方法としくみを学ぶ。また、消費性能としての染色物の堅牢性、染色加工を含むアパレル生産が地球環境や社会に与える影響について考える。さらに工芸染色の技法等についても学ぶ。

## 到達目標 (学修成果)

アパレル生産の流れを知る。染色や加工も含めた衣服づくり、染色堅牢性などの消費科学的な性能、染色加工による環境への影響などを考慮した衣服作りができるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の卒業要件科目。服飾を専門とする学生として必要な染料、染色加工等に関する基礎的な知識の向上に資する科目。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

LMSを使った授業前後のリアクションペーパーの提出により受講生は授業の予習・復習を行い、教員はコメントを返す。学生の疑問が解決できる内容の授業を展開する形でフィードバックを行う。確認テストの返却および解説を行う。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

使用しない。各回の資料を前週に配信。(授業前に予習すること。)

## 参考文献

授業内で提示

## オフィスアワー・研究室

授業前後は講師控室(第3校舎1階)。それ以外の時間帯は教務課(本校舎1階)を通じて連絡をして下さい。

出講日: 水曜日

## 備考

第1回目の授業で授業内容や受講に際しての注意などを説明します。必ず出席し、内容を十分理解してから受講して下さい。授業内試験・課題は全てweb提出となります。情報端末デバイス(PC,スマートフォン等)を用意して下さい。受講者数、授業進捗状況等により授業内容が多少変更になる場合があります。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中村	オリエンテーション: 授業についての概説(資料映像視聴)	予習: シラバスを読み授業の概要を把握 復習: 授業内容の確認	30分
2回 中村	アパレル生産における染色加工工程 概要・準備工程	予習: アパレル生産の流れを把握 復習: 染色加工前準備工程の確認	30分
3回 中村	アパレル生産における染色加工工程 染色工程・浸染と捺染	予習: 浸染と捺染とは何かを把握 復習: 浸染と捺染の種類、方法を確認	30分
4回 中村	アパレル生産における染色加工工程 仕上げ工程	予習: 仕上げ加工とは何かを把握 復習: 仕上げ加工の種類と方法の確認	30分
5回 中村	2~5回授業の確認テスト	予習: 2~5回授業の資料をまとめる 復習: 確認テストを振り返る	30分
6回 中村	工芸染色	予習: 工芸染色の種類を把握 復習: 工芸染色の技法を確認	30分
7回 中村	工芸染色 (資料映像視聴)	予習: 地元周辺地域の工芸染色を調査 復習: 工芸染色の現状を確認	30分
8回 中村	色素	予習: 色が見えるしくみを把握 復習: 異なる色に見える理由を確認	30分
9回 中村	染まるしくみ	予習: 染まるしくみを把握 復習: なぜ染まるのかを確認	30分
10回 中村	染色条件	予習: 染色条件の種類を把握 復習: 各染色条件による染まり具合を確認	30分
11回 中村	染色物の堅牢性	予習: 堅牢性とは何かを把握 復習: 堅牢性評価の方法と応用を確認	30分
12回 中村	8~11回授業の確認テスト	予習: 8~11回授業の資料をまとめる 復習: 確認テストを振り返る	40分
13回 中村	染色加工による環境への影響	予習: 染色加工の環境への影響を把握 復習: 染色加工の環境への影響を確認	30分
14回 中村	染色加工による環境への影響 (資料映像視聴)	予習: 自分のワードローブを調査 復習: 環境への影響の現状を確認	40分
15回 中村	グループワーク、まとめ	予習: 2~14回授業の資料をまとめる 復習: 授業内容整理	40分

# 繊維ファッション産業構造論

長瀬 泰典

服飾表現学科 2年 後期 選択 ( 2単位 講義 )

## 授業の方針・概要

本科目では、繊維ファッション産業を川上・川中・川下までの各機能を理解した上で、最終消費者へ販売していく過程をバリューチェーンとして捉えビジネスモデル全体を俯瞰して学習する。また、この講義では担当教員の実務経験や知見を活かした授業運営を軸としており、繊維ファッション産業の成長過程を通して現代において如何に変化したかを説明するとともに、現在の課題を学生自らが問題意識を持ちどの様に対応していくかを考え、将来を見据え業界自体がどの様に変わっていくべきかについても触れていく。なお、本科目ではポータルサイトを使用しICT活用による授業運営を行っている。

## 到達目標 (学修成果)

繊維ファッション産業の構造を理解した上で、バリューチェーン全体を把握し、各プロセスの重要性を理解することを到達目標とする。また、時代背景と共に構造自体が変化していることにも触れながら、自らが課題を発見し解決策を導き出せる人材を養うことも目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、専門選択科目の単位となる。専門コースに拘らず選択することが可能であり、繊維ファッション業界で活躍するための専門力向上に資する科目とする。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回授業終了後に振り返りを学内システム (ポータルサイト) にて提出の上、フィードバックします。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

## 教科書

必要に応じて授業内でレジュメを配布

## 参考文献

必要に応じて、その都度授業内で提示します

## オフィスアワー・研究室

授業時間の前後 30 分間、講義控え室に待機

## 備考

なし

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 長瀬	イントロダクション：繊維ファッション産業の全体的な流れとバリューチェーンとは何か	予習 パリューチェーンとは何かを調査	30分
2回 長瀬	繊維産業の実例 (川上1)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
3回 長瀬	繊維産業の実例 (川上2)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
4回 長瀬	繊維産業の実例 (川中1)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
5回 長瀬	繊維産業の実例 (川中2)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
6回 長瀬	繊維産業の実例 (川下3)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
7回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化 (SPAの事例から)	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
8回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化 (ECの事例から)	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
9回 長瀬	データから見る繊維ファッション産業を構成する業界構造	復習 データを参照し業界構造を理解した上で具体的企業を調査する	30分
10回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
11回 長瀬	ファッション産業の今後の展望_1 (現代社会におけるDXの変化から)	復習 業界目線で未来を考えた上で、自分自身で方向性を予測する	45分
12回 長瀬	ファッション産業の今後の展望_2 (現代社会におけるDXの変化から)	復習 業界目線で未来を考えた上で、自分自身で方向性を予測する	45分
13回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_1 (日本繊維ファッション企業の現在地)	復習 現在の日本企業の取り組みから課題を導き出し調査する	45分
14回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_2 (サステナビリティの考え方)	復習 持続可能性とは何かを理解した上で、業界内の課題を把握する	45分
15回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_3 (将来へ向けたファッション業界の方向性)	復習 課題を把握した上で、アパレル企業としてどのように対応していくかを考える	60分

# ファッション史

鈴木 桜子

服飾表現学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

私たちがいま着ている現代衣服の源流は、およそ100年前に遡ります。その間、多くの革新的なデザイナーが誕生し、流行のファッションが繰り広げられてきました。しかし、一見、一過性の流行と思われるがちなその現象の背後には、政治的・社会問題や同時代の芸術・デザイン運動との関連性が見受けられます。

上記より本授業の方針として、近現代を中心に、芸術・デザイン諸領域の動向を理解しながら、服飾デザインの理論とその歴史性を探っていく視点を重視していきます。

## 到達目標(学修成果)

時代の造形思考を学ぶことによって、学生一人ひとりが衣服に対する、デザインに対する考え方が持てるようになること、尚且つこれからの衣服の在り方について、多様な視点で見据えていこうとするきっかけが持てるようになることが本授業の到達目標です。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目にあたる専門選択科目です。1年次の必修科目「西洋服飾文化史」と合わせて服飾史として通史が完成される内容になっています。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の進行状況にあわせて、授業ノートの評価を行い、授業内でフィードバックをしていきます。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

杉野服飾大学オープン教育リソース グラフィック年表「現代ファッションの100年」

本学掲載P <https://www.sugino-fc.ac.jp/about/resources/>

## 参考文献

授業内容に応じて紹介します。

## オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

## 備考

なし

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 現代ファッションの100年	シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・デザイン運動とファッション ジャポニスム	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
3回 鈴木	改良服運動	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
4回 鈴木	アール・ヌーヴォー	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
5回 鈴木	ウィーン工房	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
6回 鈴木	デ・スタイルとロシア構成主義	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
7回 鈴木	バウハウス	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
8回 鈴木	・モードの革新者たち マドレーヌ・ヴィオネ	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
9回 鈴木	ガブリエル・シャネル	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
10回 鈴木	エルザ・スカパレリ	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
11回 鈴木	戦後のモード -ディオールからサンローランまで-	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
12回 鈴木	モードの多様化 アンチ・モード-	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
13回 鈴木	日本人デザイナーたち	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
14回 鈴木	北欧デザインとファッション	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
15回 鈴木	まとめ	予習: 総復習テストの準備	40分

# ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

服飾表現学科 2年 通年(前期) 選択 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

## 到達目標(学修成果)

全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。  
ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。  
資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

制作した作品について、提出後学生ポータルサイトにてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

## 教科書

「ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行  
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行

## 参考文献

必要に応じて適時紹介します。

## オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

## 備考

初回授業時に検定試験日をお知らせします。日程及び内容は変更があります。  
検定料が25,000円(教科書代、受験料、認定証書代を含む)がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として13,000円、材料費(ペール制作、コサージュ制作)に1,000円が別途がかかります。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	1.オリエンテーション:ブライダル協会の活動と業界の現状を学ぶ 2.結婚式の種類:挙式のスタイルを学ぶ	予習:シラバスを読む コンテンツ1,2を読む	30分
2回 井口	2.結婚式の種類:挙式のスタイルを学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
3回 井口	3.日本の婚礼の歴史:古来~現代の婚礼スタイルに至るまでの歴史を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
4回 井口	3.日本の婚礼の歴史(継続)4.結納・婚約の現状:結納・婚約から結婚式までの流れを学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
5回 井口	5.セレモニー・レセプションの現状とトレンド:多様化するセレモニー・レセプションの現状とトレンドを学ぶ 小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
6回 井口	6.カラーコーディネート:演出として「色」を活用できるように色彩の基礎を学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
7回 井口	7.フラワーコーディネート:空間演出をする会場装花やウェディングブーケ・ブートニアについて学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
8回 井口	8.婚礼衣装の基本コーディネート:ウェディングドレスの必須アイテムとそのコーディネート方法を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
9回 井口	9.フォーマルファッション:ルールブックを用いて、フォーマルウェアのドレスコードを学ぶ 小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
10回 井口	10.和装コーディネート:和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
11回 井口	10.和装コーディネート(継続):和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む。	30分
12回 井口	婚礼に関する衣装やアクセサリーなどの見学、グループワーク(着装体験)とディスカッション	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
13回 井口	小試験解説11.フォトスタイリング:花嫁を美しく撮影するための基礎知識を学ぶ。小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
14回 井口	12.ブライダルアテンドの方法:カップルの身の回りの世話やスケジュールを管理するアテンダントの役割を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
15回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分

# ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

服飾表現学科 2年 通年(後期) 選択 (2単位 演習)

## 授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

## 到達目標(学修成果)

全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。  
ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。  
資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

制作した作品について、提出後manabaにてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

## 教科書

ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行  
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行

## 参考文献

必要に応じて適時紹介します。

## オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

## 備考

授業計画3回、4回、5回は時間割配当表の通常時間外に実施する計画になります。日程及び内容は変更があります。  
検定料が25,000円(教科書代、受験料、認定証書代を含む)がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として13,000円、材料費(ペール制作、コサージュ制作)に1,000円が別途がかかります。(通年科目により、前期納入)

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
2回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
3回 井口	和装と洋装衣装見学	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
4回 井口	セレモニー・レセプション会場見学	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
5回 井口	マナー実習	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
6回 井口	13.接客の知識:お客様に満足してもらえる物やサービスが提供できる知識を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
7回 井口	14.基本のマナー(名刺交換・訪問・食事等):人と交際するうえで必要なマナー(礼儀作法)を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
8回 井口	15.専門用語:式場で使う用語、宝飾(ジュエリー)用語を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
9回 井口	試験対策1:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:授業範囲を読み返す	30分
10回 井口	試験対策2:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
11回 井口	試験対策3:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
12回 井口	試験対策4:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
13回 井口	試験対策5:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
14回 井口	模擬試験:検定試験を想定して行う	復習:すべての単元に目を通す	30分
15回 井口	まとめ 検定試験の解説	復習:検定試験の問題に目を通す	30分

# ビューティー・メイクアップ術A

中島 由起子

服飾表現学科 2年 前期 選択 (1単位 講義)

## 授業の方針・概要

大学生として身に付けるべき美容メイク術の基本として、スキンケアからナチュラルメイクを学びます  
実践的に行うことで、メイクの基本を身に付けることができます

## 到達目標(学修成果)

美容メイクの基本を身に付け活用できることで、社会人としての自信と生活を健康で豊かにする技術を身に付けることができます

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の中でレポート提出と改善などを解説します

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	%

## 教科書

必要に応じて資料を配布します

## 参考文献

授業内に適宜紹介します

## オフィスアワー・研究室

講師控え室、それ以外の時間帯は教務にまでご連絡ください

## 備考

必要な教材等は授業でお知らせいたしますので、適宜ご持参ください

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身で、準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
2回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身でご準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
3回 中島	スキンケア、化粧水、乳液、保湿日焼け止めまでの1連の使い方を実際にやっていきます	ご自身で化粧水、乳液、保湿類日焼け止めまでご準備ください	60分
4回 中島	メイク下地 プルベ、イエベなどの確認。実際に下地を使ってより良い肌に仕上げる	メイク下地ご準備ください。悩んだ時は色の付いていない下地をご準備ください。	60分
5回 中島	ファンデーション、様々なファンデーションの個性をお伝えしていきます。	実際にファンデーションを塗るため、ファンデーションのご準備をお願いいたします。	60分
6回 中島	コンシーラー くすみ、クマ、赤みの対処法をお伝えします	コンシーラーもお持ちの方は授業でも使用していきます。	60分
7回 中島	チーク 中顔面を狭く見せるやり方などお伝えします	ハイライトの入れ方などもこちらでお伝えしていきます。	60分
8回 中島	前半の授業の振り返り、デモンストレーションを交えながら、前半の授業をまとめていきます	メイク道具お持ち下さい。次週からアイメイクの準備をしてください	60分
9回 中島	アイメイク 上まぶた基本的なアイシャドーの塗り方アイラインのひき方マスカラの付け方お伝えしていきます	アイメイクを完成させるために、アイシャドーアイライナーマスカラなどをご持参ください	60分
10回 中島	アイメイク下まぶた 涙袋など目が大きく見える。ポイントお伝えしていきます。	実際に使ってみたい色味のアイシャドーをお持ちください	60分
11回 中島	アイブロー 基本的な眉毛の書き方、眉カットの仕方などお伝えしていきます	使いやすい、アイブローのメイク道具をお持ちください	60分
12回 中島	口紅、リップを可愛く塗る方法、きちんと見える塗り方などお伝えしていきます	使用しているリップがある方はお持ちください	60分
13回 中島	メイク後半の授業の振り返り、実際に質問などをお受けしながらデモンストレーションなども加えて進めていきます	授業内でメイクしていきますので、ご自身のメイク道具もお持ちください	60分
14回 中島	実際にご自身でメイクをする	予習 実際にご自身で使うメイク道具の準備授業にご持参いただきます	60分
15回 中島	実際にご自身でメイクをしてレポートを提出	メイク道具を忘れずに全てお持ちください	60分

# ビューティー・メイクアップ術B

中島 由起子

服飾表現学科 2年 後期 選択 (1単位 講義)

## 授業の方針・概要

大学生として身に付けるべき美容メイク術の基本として、スキンケアからナチュラルメイクを学びます  
実践的に行うことで、メイクの基本を身に付けることができます

## 到達目標(学修成果)

美容メイクの基本を身に付け活用できることで、社会人としての自信と生活を健康で豊かにする技術を身に付けることができます

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の中でレポート提出と改善などを解説します

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	%

## 教科書

必要に応じて資料を配布します

## 参考文献

授業内に適宜紹介します

## オフィスアワー・研究室

講師控え室、それ以外の時間帯は教務にまでご連絡ください

## 備考

必要な教材等は授業でお知らせいたしますので、適宜ご持参ください

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身で、準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
2回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身でご準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
3回 中島	スキンケア、化粧水、乳液、保湿日焼け止めまでの1連の使い方を実際にやっていきます	ご自身で化粧水、乳液、保湿類日焼け止めまでご準備ください	60分
4回 中島	メイク下地 プルベ、イエベなどの確認。実際に下地を使ってより良い肌に仕上げる	メイク下地ご準備ください。悩んだ時は色の付いていない下地をご準備ください。	60分
5回 中島	ファンデーション、様々なファンデーションの個性をお伝えしていきます。	実際にファンデーションを塗るため、ファンデーションのご準備をお願いいたします。	60分
6回 中島	コンシーラー くすみ、クマ、赤みの対処法をお伝えします	コンシーラーもお持ちの方は授業でも使用していきます。	60分
7回 中島	チーク 中顔面を狭く見せるやり方などお伝えします	ハイライトの入れ方などもこちらでお伝えしていきます。	60分
8回 中島	前半の授業の振り返り、デモンストレーションを交えながら、前半の授業をまとめていきます	メイク道具お持ち下さい。次週からアイメイクの準備をしてください	60分
9回 中島	アイメイク 上まぶた基本的なアイシャドーの塗り方アイラインのひき方マスカラの付け方お伝えしていきます	アイメイクを完成させるために、アイシャドーアイライナーマスカラなどをご持参ください	60分
10回 中島	アイメイク下まぶた 涙袋など目が大きく見える。ポイントお伝えしていきます。	実際に使ってみたい色味のアイシャドーをお持ちください	60分
11回 中島	アイブロー 基本的な眉毛の書き方、眉カットの仕方などお伝えしていきます	使いやすい、アイブローのメイク道具をお持ちください	60分
12回 中島	口紅、リップを可愛く塗る方法、きちんと見える塗り方などお伝えしていきます	使用しているリップがある方はお持ちください	60分
13回 中島	メイク後半の授業の振り返り、実際に質問などをお受けしながらデモンストレーションなども加えて進めていきます	授業内でメイクしていきますので、ご自身のメイク道具もお持ちください	60分
14回 中島	実際にご自身でメイクをする	予習 実際にご自身で使うメイク道具の準備授業にご持参いただきます	60分
15回 中島	実際にご自身でメイクをしてレポートを提出	メイク道具を忘れずに全てお持ちください	60分

# インターンシップ

笹部 小百合

服飾表現学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

## 授業の方針・概要

専門コースの選択により明確になった将来目標を踏まえ、これまでの学修成果を実社会で試し、自身の適性や能力を客観的に把握する機会とする。産学連携協定に基づく企業を含む専門分野関連企業においてインターンシップ(就労体験)を実施し、実務を体験・学修することで実務能力の向上を図る。企業で求められる資質や姿勢を理解し、卒業後の進路意識を高めるとともに、今後の学修への主体的な取り組みにつなげる。実務経験を基にした振り返り指導を行い、社会で活躍できる人材としての意識形成を目指す。

## 到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を通して、社会人としての基礎的なマナーやビジネス姿勢を身に付ける。さらに、自身の適性を理解し、将来の進路選択や就職活動に生かすことのできる判断力と実践的能力を養うことを目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目における卒業要件科目である。将来の就職および職業理解を深め、専門分野における実践的能力と社会適応力の修得を目的とする科目として位置付ける。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌の提出内容に対する企業研修先からの講評、グループワークや課題、最終報告書および報告会に対する講評を行う。授業内での口頭指導に加え、メールおよび学内ポータルサイト等を活用してフィードバックを実施する。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

## 教科書

なし

## 参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

## オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

## 備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上~12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：カリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について、履歴書の書き方(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種についての面談及び自己表現・履歴書作成	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分



# 家庭経営学 ( 家族関係学及び家庭経済学を含む )

阿部 睦子

服飾表現学科 2年 前期 選択 ( 2単位 講義 )

## 授業の方針・概要

社会生活の基本単位としての家庭を経営する視点から、家族や家庭を巡る諸現象の考察を通して、よりよい生活設計のあり方を探ります。授業形態は講義・演習を基本としますが、授業の展開は学生が主体的に取り組めるようにし、今後、教職の学習指導に活かすことができるとともに、学生自身の生活にいかすことを目指します。

## 到達目標 ( 学修成果 )

今日の生活スタイルの特徴を理解し、 家族関係・家族心理について、 衣食住の運営について、 家庭経済について、 家庭管理についてなどの視点から家庭経営について系統的に考え理解できるようにする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、選択科目として卒業要件科目となります。

## フィードバック ( 試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用 ) 方法

- ・基本的に授業の前後どちらかに振り返りの時間を設けます。
- ・ナラティブなど記述することで、学修者の自己研鑽の機会を設定します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

- ・生きる力をつける学習-未来をひらく家庭科- 望月 一枝 著者代表 教育実務センター

## 参考文献

- ・現代家族を読み解く12章 日本家政学会編 丸善出版
- ・持続可能な社会と人の暮らし 持続可能な生活研究会 建帛社
- ・オフィスアワー・研究室
- ・授業終了後30分程度・第3校舎講師控え室(第3校舎1階)、その他何かあれば教務室経由で対応します。

## 備考

評価においては、授業姿勢(欠席・遅刻も含む)及び日常課題を重要視します。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 阿部	オリエンテーション: 授業計画、生活構造の概要を知り、家庭生活の本質について考える。	予習: シラバスをよく読む。 復習: 配布資料を見直す。	30分
2回 阿部	家族の形成と変遷: 家族とは何か、家族の形成を中心とした人間生活の成り立ちについて歴史を辿ることで考える。	復習: 配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
3回 阿部	家族や家族関係をめぐる現代の諸現象と問題: 現代の家族や家族関係の問題と改善案を考える。	復習: 配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
4回 阿部	自分らしく生きるための生活設計: 生涯を見通す長期、中期、短期の設計など、ライフプランについて考える。	予習: 将来をイメージしてくる。 復習: 配布資料を見直す。	60分
5回 阿部	生活時間の実態と分類: 生活時間からワークライフバランスについて考える。	復習: 配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
6回 阿部	「食べる」: 家庭経営を具現化するために、食生活の実践を通して考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、食生活について理解を深める。	60分
7回 阿部	「着る」: 家庭経営を具現化するために、衣生活の実践を通して考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、衣生活について理解を深める。	60分
8回 阿部	「住まう」: 家庭経営を具現化するために、住生活の実践を通して考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、住生活に理解を深める。	60分
9回 阿部	「育つ・育てる」: 子どもを育てる視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、子どもの成長に関する理解を深める。	60分
10回 阿部	「高齢社会」: 高齢者の視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、高齢者についての理解を深める。	60分
11回 阿部	「買う」: ライフステージ別の家計の具体例を通して家計の実態を知り、家庭経済と家庭管理について考える。	予習: 発表者は準備。復習: 社会とつながる家庭経済についての理解を深める。	60分
12回 阿部	「ジェンダー」: 男女共同参画社会をベースに、よりよい家事労働の在り方について考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、ジェンダーについての理解を深める。	60分
13回 阿部	「持続可能な社会」: ESD・SDGsを通して、循環型社会を創る消費者のライフスキルについて考える。	予習: 発表者は準備。復習: 持続可能な社会の形成についての理解を深める。	60分
14回 阿部	「シチズンシップ」: 家庭経営と協働・共生生活を拓くライフスキルについて考える。	予習: 発表者は準備。復習: シチズンシップ教育の広がりについて理解を深める。	60分
15回 阿部	まとめ: 課題のフィードバックを行い、家庭経営についての理解を深める。	予習: これまでの学習を振り返る。 復習: 今後の生活課題を設定する。	60分

# 食物学 ( 実践栄養学 )

外川 恵

服飾表現学科 2年 後期 選択 ( 2単位 講義 )

## 授業の方針・概要

本授業では、栄養学の基礎知識を習得し、ライフステージの特徴や健康課題を理解するとともに、健康の保持・増進およびウェルビーイングの実現に向けた食生活を実践する力を養うことを目的とする。栄養素の種類・はたらき、消化・吸収、健康との関連を学び、栄養の役割について総合的に理解する。授業は講義を中心とし、事例検討や演習を取り入れることで、知識の理解に留まらず、その活用を図る。

## 到達目標 ( 学修成果 )

1. 栄養学の基礎知識、ライフステージの特徴、健康課題を理解し、説明できる。
2. 健康の保持・増進、ウェルビーイングの実現に向けた食生活を理解し、実践できる。
3. 教職課程履修者においては、家庭科の食生活分野に生かすことができる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 ( ライフスタイル関係 ) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

## フィードバック ( 試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用 ) 方法

各講義のはじめに前回のワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 ( プレゼンテーション含む )	30%
期末試験・課題 ( プレゼンテーション含む )	50%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

イラスト「栄養学入門-栄養の世界を探る-」 著者 田村明 ほか 東京教学社

## 参考文献

「栄養素の通になる」第5版 著者 上西一弘 女子栄養大学出版部

## オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎 3002

## 備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等の文章等を ( ほとんど ) そのまま用いることは認めない。使用の際は、教員の指示を受けること。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	必要時間
1回 外川	栄養学への導入：食・健康の現状と課題	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食物と栄養摂取：食事の基本要素	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食物と栄養摂取：食物の階層構造，食事バランスガイド	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	食物と栄養摂取：日本人の食事摂取基準	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	食物と栄養摂取：エネルギー・水	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	栄養素の性質とはたらき：炭水化物	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	栄養素の性質とはたらき：たんぱく質	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	栄養素の性質とはたらき：脂質	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	栄養素の性質とはたらき：脂溶性ビタミン	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	栄養素の性質とはたらき：水溶性ビタミン	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	栄養素の性質とはたらき：多量ミネラル	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	栄養素の性質とはたらき：微量ミネラル	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	食物と栄養摂取：各ライフステージの食・栄養摂取の特徴と健康課題	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	食事計画と献立作成	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	授業内試験とまとめ	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分



# キャリアプランニング

平松 隆司

服飾表現学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

就職活動は単に会社を探し仕事に就くといったことの作業をすることではなく、自分自身と向き合い、社会情勢をきちんと理解し、将来どのようなキャリアを形成していくかについて考え行動することである。短期的視点ではなく、将来にわたって自分の目指すゴールがどこにあるのか、自分がやりたいことは何なのか、そしてどんな人生にしたいのか、長期的に考えていくことがある。且つ必要なことである。キャリアデザインの基本的な考え方や就職活動の流れを理解し、より良い職業選択ができるように学習する。

## 到達目標(学修成果)

キャリアプランニングとは何かを知り理解する。

雇用環境の現状を理解し、自己分析を通じて自らのキャリアをデザインする力を身につけることができる。

社会人、卒業生の体験を聞くことを通じて将来像を描ける能力を養う。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。全学生の共通必修で、社会人基礎力の向上に資する科目です。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業課題(レポートなど)については授業内にフィードバックする。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

## 教科書

授業で必要とする資料は適宜小冊子やプリント等を配付する。

## 参考文献

適宜

## オフィスアワー・研究室

10:00~17:00(水曜日除く)本校舎1階就職部

## 備考

この科目では、原則として遅刻は認めません。授業中に次のことはしてはいけません。離席、私語、飲食、メールなど授業に関係のないこと。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 平松	イントロダクション; ノート, アンケート, 採点基準, 講義概要, ハンドアウト(印刷物)の配付	予習: シラパスを読む	60分
2回 平松	【業界・企業研究】雇用と労働市場 新卒の雇用と労働市場を理解し社会が求める人材について考える	予習: 社会人に求められることについて考えてくる	30分
3回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(デザイナーの仕事)	予習: 将来、目指している仕事について考える 復習: 産業と職業に関するレポート	30分
4回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(小売業アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
5回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(ECビジネスの制作現場について)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
6回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(スタイリストについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
7回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(小売業アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
8回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(総合アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
9回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(新スタイルのビジネスモデルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
10回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(縫製工場について)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
11回 平松	【業界・企業研究の基本】新卒人材について考える(各企業の人事部からの説明)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
12回 平松	【業界・企業研究の基本】業界・企業を研究するための情報収集(副資材・付属品について学ぶ)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
13回 平松	新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
14回 平松	新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
15回 平松	【まとめ】期末試験	14回返に配付した資料を復習してくる 学んだことを元に就職活動を準備する	30分

**心理学 A**

手島 陽介

服飾表現学科 2年 前期 選択 ( 2単位 講義 )

**授業の方針・概要**

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるよう幅広い領域の理論について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、ディスカッションなど、体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

**到達目標 (学修成果)**

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

**卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連**

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

**フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法**

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Aのまとめをする。

**成績評価の方法・基準**

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

**教科書**

進行に合わせて毎時間プリントを配布する。

**参考文献**

蓮見将敏ほか ( 編 ) 『人間関係の心理学』 福村出版  
 二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社

**オフィスアワー・研究室**

前期：水曜日 ( 12 : 00-15 : 00 ) 研究室 後期：水曜日 ( 12 : 00-15 : 00 ) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 ( 研究棟 1階 6015 )

**備考**

毎時間、ファイルに入れたプリントを持参してください

**授業計画**

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	必要時間
1回 手島	「心」って何だろう？ 心理学の入り口をのぞいてみる ( 心理学の定義・研究分野・意識と無意識 )	予習：心理学という学問についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。	30分
2回 手島	「心」って何だろう？ 心理学の広がりや歴史的に紐解く	復習：プリントを振り返り、日常の心理現象について考える	30分
3回 手島	わたしの性格はどうできている？ 性格の心理学 ( パーソナリティ理論・遺伝と環境・性格心理テスト体験 )	復習：パーソナリティテストの結果を見て、自身の現在の状況について振り返る	30分
4回 手島	人はどうやって成長するのか？ ( 子ども編 ) 発達段階理論・乳幼児期～児童期	予習：誕生してから現在までどのような発達経過を辿ってきたのかを考えてくる	30分
5回 手島	「自分らしさ」はいつできるのか？ ( 思春期・青年期編 ) 青年期の発達課題・アイデンティティ	復習：エリクソンの発達段階説をもとに現在の自分の課題について考える	30分
6回 手島	やる気のスイッチはどこにある？ モチベーションの心理学 ( 内発、外発的動機づけ・ストレス社会との関係 )	復習：自身の身の回りのストレスについて考えコーピング方法を検討する	30分
7回 手島	うまく伝わらないのはなぜ？ コミュニケーションの心理学	復習：非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる	30分
8回 手島	どうして覚えられない？ どうして忘れる？ 記憶の構造・学習理論・記憶の歪み	復習：本日の資料と教科書を振り返り、学習の心理を復習し理解する。	30分
9回 手島	「感情」はどこから生まれるのか？ 感情理論・感情の分類と表出	予習：ここ最近に感じる感情について、出来事との関連を考えてくる	30分
10回 手島	イライラは悪いこと？ 欲求不満とこころの防衛 ( ストレス理論・欲求・自我防衛機制 )	復習：身の回りのストレスについて考え、コーピングを試してみる	30分
11回 手島	集団の中のわたしたち 集団心理学・社会的促進・リーダーシップ	復習：集団の心理的現象について振り返り日常の中での影響について考える	30分
12回 手島	「色」はなぜ心を動かすのか？ 色彩心理学と服飾分野 ( 色の心理的影響・視覚・服飾との関係 )	復習：インテリアや服など周りの色を観察し、心理的影響について考察する	30分
13回 手島	自分の「強み」ってどう見つける？ 自己理解の心理学 ( 自己概念・無意識・自己一致と不一致 )	復習：授業プリントを振り返り、再度自分の強みについて振り返る	30分
14回 手島	これまでの学びを整理する まとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	心理学で「自分」を見直す時間 心理学Aの振り返りとフィードバック	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

心理学 B

手島 陽介

服飾表現学科 2年 後期 選択 ( 2単位 講義 )

授業の方針・概要

基礎心理学を中心に概説した「心理学A」から、本講義「心理学B」では応用心理学を中心に概説する。ディスカッションを通して体験的に学び、心理学的な知見がどのように社会場面に活かされているのかを学習していく。心理学に親しみながら、知識を身につけるとともに、自己理解、他者理解を深めていく。

到達目標 (学修成果)

本講義を通し、論理的な思考力を養い、さまざまな見方や柔軟な行動ができるようになることを目指していく。また、学習したことを、日常生活や社会場面の中で具体的に活用できるようになることが到達目標である。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Bのまとめをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

進行に合わせて毎時間プリントを配布する。

参考文献

蓮見将敏ほか ( 編 ) 『人間関係の心理学』 福村出版  
 二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社  
 オフィスアワー・研究室

前期：水曜日 ( 12 : 00-15 : 00 ) 研究室 後期：水曜日 ( 12 : 00-15 : 00 ) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 ( 研究棟 1階 6015 )

備考

毎時間、ファイルに入れたプリントを持参してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	必要時間
1回 手島	第一印象はなぜ決まる？ ( 心理学とは何か ) 対人認知・印象形成・意識と無意識	予習：身近な心理的な現象について考えてくる	30分
2回 手島	「好き」はどのように生まれるのか？ ( 心理学とは何か ) 対人魅力・恋愛心理学・推し活・人間関係の心理学	復習：プリントを振り返り、対人認知の心理について理解する	30分
3回 手島	人はなぜ影響されるのか？ 社会的影響・説得・交渉・CMや広告	習：他者からの影響を受けた経験について振り返り要因を探る	30分
4回 手島	「買いたくなる」のはなぜ？ 消費者心理・購買の心理学・ビジネス場面の影響理論	復習：実際のCMや広告などでメディアによる心理的影響について考える	30分
5回 手島	私たちは本当に正しく「見えている」のか？ 知覚の心理学・感覚器官のしくみ・錯視	復習：教科書とプリントより、錯視や幾何学図形を見て知覚を振り返る	30分
6回 手島	音楽はなぜ心と行動を変えるのか？ 音楽心理学・脳と音の関係・音楽療法を体験	予習：身の回りの音楽や店舗のBGM、環境音などについて調べてくる	30分
7回 手島	「考える」って何だろう？ ( 思考の心理学 ) 思考の心理学・問題解決・思考プロセス	予習：問題を解決した、乗り越えた場面について考えてくる	60分
8回 手島	創造性は才能？それとも努力？ ( 思考の心理学 ) 創造性理論・創造的パーソナリティ・創造の段階	復習：創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる	30分
9回 手島	犯罪はなぜ起こるのか？ 犯罪心理学・サイコパス・法と心理学・事件を読み解く	復習：配布プリントを振り返り、犯罪心理学の定義やデータについて確認する	30分
10回 手島	「こころが健康」ってどういう状態？ 精神的健康・ウェルビーイング	予習：現在の自分の健康状態について考えてくる	30分
11回 手島	心と身体はつながっている？ 心身相関・認知・感情・行動の相互作用	復習：心のモデルに、様々な状況を当てはめて考える	30分
12回 手島	整える力を身につける ( 健康心理学 ) ストレス理論・呼吸法・睡眠とメンタルヘルス	復習：呼吸について、日常で体験をする	30分
13回 手島	幸せはどこから生まれるのか？ 主観的幸福感・文化差・人間関係	復習：世界の幸福感についてのデータを振り返る	30分
14回 手島	これまでの学びを整理する まとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	心理学で「自分」を見直す時間 心理学Bの振り返りとフィードバック	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

**憲法**

東島 日出夫

服飾表現学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

**授業の方針・概要**

この科目では、憲法について学ぶことを主としつつ、法学の入門的位置づけともなるよう工夫しながら授業を進めていきます。授業計画に掲げている様々な項目はもとより、近年話題を集めるトピックなどで、憲法学と関連し得る内容について、参考文献や具体的な判例・裁判例などを通じて理解を深められるようにします。関連する条文および解釈に関する知識を身につけつつ、法的な思考が養えることを目的とします。

**到達目標(学修成果)**

「憲法」や「法学」というと、堅苦しくて難しいものというようなイメージがあるかも知れませんが、そうした印象を払拭すべく、身近に起きている様々な事件などを素材に、法的にどのように理解したらよいか、わかりやすく説明します。また、自らも考えることで、能力、資質の向上をも目指し、将来社会人として生活していくうえで、役に立つような法的知識が得られることを目標とします。

**卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連**

教養選択科目です。なお、教員免許状取得を目指す人にとっては、教職課程必修科目となります。

**フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法**

14回目に試験、15回目に試験の解説をします。また、毎回リアクションペーパーの提出を求めますが、そこに書かれた質問等に回答します。

**成績評価の方法・基準**

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

**教科書**

毎回資料を配布します。

**参考文献**

- ・ 芦部信喜『憲法(第8版)』(岩波書店、2023年)・初宿正典、大沢秀介他『目で見る憲法(第5版)』(有斐閣、2018年)
- ・ 渋谷秀樹、赤坂正浩『憲法1 人権(第8版)』(有斐閣、2022年)・『憲法2 統治(第8版)』(有斐閣、2022年)

**オフィスアワー・研究室**

連絡先:教務課(本校舎) 出講日:金曜日

**備考**

10回以上出席することを必須とします(10回以上の出席がないと試験を受けても不合格となります)。成績評価は、試験の結果を主としますが、授業態度・姿勢、リアクションペーパーの記載内容等も加味します。授業内容の理解を深めるため、授業資料をもとに必ず予習、復習をしてください。

**授業計画**

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 東島	ガイダンス、法解釈とは何か、憲法論の概説	シラバスの確認、憲法条文の印刷 (電子政府e-Govサイトで無償入手可)	30分
2回 東島	立憲主義、国民主権、平和主義	授業資料の予習と復習	45分
3回 東島	人権論概説、基本的人権、人権享有主体	授業資料の予習と復習	45分
4回 東島	基本的人権の限界	授業資料の予習と復習	45分
5回 東島	生命・自由・幸福追求権	授業資料の予習と復習	45分
6回 東島	法の下の平等	授業資料の予習と復習	45分
7回 東島	経済的自由権	授業資料の予習と復習	45分
8回 東島	精神的自由権 ・ 内心の自由・	授業資料の予習と復習	45分
9回 東島	精神的自由権 ・ 表現の自由・	授業資料の予習と復習	45分
10回 東島	人身の自由 ・ 刑事手続き・	授業資料の予習と復習	45分
11回 東島	人身の自由 ・ 裁判を受ける権利・	授業資料の予習と復習	45分
12回 東島	社会権 ・ 生存権、教育権・	授業資料の予習と復習	45分
13回 東島	社会権 ・ 勤労権、労働基本権・	授業資料の復習	45分
14回 東島	試験	授業資料の復習	90分
15回 東島	試験の解説、補論	試験問題の振り返り	45分

# 英語（総合）A

草場 千紘

服飾表現学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

## 授業の方針・概要

英語（総合）Aの授業では、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。授業内では、長文読解の演習に加え、発音についても知識を深め、英語を使うための力を身につけていきます。また個々の活動に加え、ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して自分の興味関心について表現する力を養います。

## 到達目標（学修成果）

日常生活においてコミュニケーションで用いられる語彙や表現を知り、場面に応じて使い分けることができるようになる。必要な情報を英語で正確に聞き取り、その内容が理解ができるようになる。自分の意見を適切に表現することができるようになる。以上の3点が到達目標です。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Aは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することを目指しています。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での解説、必要に応じて“Campus Magic”を活用します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

Off to the World! Adventures in Language and Life ことばと文化の冒険旅行（金星堂）

## 参考文献

必要に応じて提示します。

## オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

## 備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明	シラバスを読む。	30分
2回 草場	【Unit 1 Hitchhiking Around the World】	【復習】Unit 1の長文・単語の復習	30分
3回 草場	【Unit 2 Olympic Spirit!】	【復習】Unit 2の長文・単語の復習	30分
4回 草場	【Unit 3 The Power of Greetings】	【復習】Unit 3の長文・単語の復習	30分
5回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション 準備	30分
6回 草場	【Unit 4 Where's My Hotel?】	【復習】Unit 4の長文・単語の復習	30分
7回 草場	【Unit 5 Our Global Connections】	【復習】Unit 5の長文・単語の復習	30分
8回 草場	【Unit 6 Welcome Home!】	【復習】Unit 6の長文・単語の復習	30分
9回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション の準備	30分
10回 草場	【Unit 7 The Secret of Life】	【復習】Unit 7の長文・単語の復習	30分
11回 草場	【Unit 8 Is This Seat Taken?】	【復習】Unit 8の長文・単語の復習	30分
12回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーションの準備について	【予習・復習】 テスト・プレゼンテーション準備	30分
13回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
14回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】まとめ	30分

# 英語（総合）B

草場 千紘

服飾表現学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

## 授業の方針・概要

前期英語（総合）Aに引き続き、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。授業内では、長文読解の演習に加え、発音についても知識を深め、英語を使うための力を身につけていきます。また個々の活動に加え、ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して自分の興味関心について表現する力を養います。

## 到達目標（学修成果）

日常生活においてコミュニケーションで用いられる語彙や表現を知り、場面に応じて使い分けができるようになる。必要な情報を英語で正確に聞き取り、その内容が理解ができるようになる。自分の意見を適切に表現することができるようになる。以上の3点が到達目標です。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することを目指しています。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での解説、また適宜“Campus Magic”を活用します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

Off to the World! Adventures in Language and Life ことばと文化の冒険旅行（金星堂）

## 参考文献

必要に応じて提示します。

## オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

## 備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明	シラバスを読む。	30分
2回 草場	【Unit 1~8】	【復習】Unit 1~8の重要単語の復習	30分
3回 草場	【Unit 9 Exploring World Religions】	【復習】Unit 9の長文・単語の復習	30分
4回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション 準備	30分
5回 草場	【Unit 10 Let's Study Abroad!】	【復習】Unit 10の長文・単語の復習	30分
6回 草場	【Unit 11 What's the Most Difficult Language?】	【復習】Unit 11の長文・単語の復習	30分
7回 草場	【Unit 12 A Crowded Planet!】	【復習】Unit 12の長文・単語の復習	30分
8回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション の準備	30分
9回 草場	【Unit 13 Vocabulary Roadblocks】	【復習】Unit 13の長文・単語の復習	30分
10回 服部	【Unit 14 Beware of Landmines!】	【復習】Unit 14の長文・単語の復習	30分
11回 草場	【Unit 15 World Citizenship】	【復習】Unit 15の長文・単語の復習	30分
12回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーションの準備について	【予習・復習】 テスト・プレゼンテーション準備	30分
13回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
14回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】まとめ	30分

# ワールド・カルチャー A

草場 千紘

服飾表現学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

各国について一般的な知識を深めるとともに、その国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけではなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることを理解していきます。テキストはすべて英語になっていますが、グループプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、他の学生とコミュニケーションを取りながら理解を深めることができます。また、本文の読解や動画の視聴などは主にリスニングとリーディングのスキルを高めることが期待できます。

## 到達目標 (学修成果)

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになる。また英語のポキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的なスキルアップをする。以上の2点が到達目標です。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係)・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールド・カルチャーAは国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回"Campus Magic"上で提出してもらリアクションペーパーは、授業内でフィードバックを行い、出来栄によってクラスで共有します。その他についても、授業内で解説を行い必要に応じて"Campus Magic"を活用します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

Scott Berlin、小林めぐみ 著 World Adventures (金星堂)

## 参考文献

必要に応じて提示します。

## オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

## 備考

「ワールド・カルチャーA」と「ワールド・カルチャーB」は授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピック(国)が異なります。初回授業内にて、グループプレゼンテーションのためのグループ分けを予定しています。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明、グループ分け	シラバスを読む	30分
2回 草場	Chapter 1 INDIA	【予習】 Chapter 1を読む	30分
3回 草場	Chapter 1 INDIA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
4回 草場	Chapter 2 PHILIPPINES	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 2を読む	30分
5回 草場	Chapter 2 PHILIPPINES	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
6回 草場	Chapter 3 THAILAND	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 3を読む	30分
7回 草場	Chapter 3 THAILAND	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
8回 草場	Chapter 4 VIETNAM	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 4を読む	30分
9回 草場	Chapter 4 VIETNAM	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
10回 草場	Chapter 5 KOREA	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 5を読む	30分
11回 草場	Chapter 5 KOREA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
12回 草場	Chapter 6 FRANCE	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 6を読む	30分
13回 草場	Chapter 6 FRANCE	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
14回 草場	前期末まとめテスト	【予習】 テスト準備	90分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】 総復習	30分

# ワールド・カルチャー B

草場 千紘

服飾表現学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

前期「ワールド・カルチャーA」に引き続き、各国について一般的な知識を深めるとともに、その国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけではなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることを理解していきます。テキストはすべて英語になっていますが、グループプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、他の学生とコミュニケーションを取りながら理解を深めることができます。また、本文の読解や動画の視聴などは主にリスニングとリーディングのスキルを高めることが期待できます。

## 到達目標(学修成果)

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになる。また英語のポキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的なスキルアップをする。以上の2点が到達目標です。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目(国際関係)・選択科目です。教養選択科目(一般・体育・国際関係)16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールド・カルチャーBは国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回"Campus Magic"上で提出してもらリアクションペーパーは、授業内でフィードバックを行い、出来栄によってクラスで共有します。その他についても、授業内で解説を行い必要に応じて"Campus Magic"を活用します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

Scott Berlin、小林めぐみ 著 World Adventures (金星堂)

## 参考文献

必要に応じて提示します。

## オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

## 備考

「ワールド・カルチャーA」と「ワールド・カルチャーB」は授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピック(国)が異なります。初回授業内にて、グループプレゼンテーションのためのグループ分けを予定しています。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明、グループ分け	シラバスを読む	30分
2回 草場	Chapter 7 ITALY	【予習】 Chapter 7を読む	30分
3回 草場	Chapter 7 ITALY	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
4回 草場	Chapter 8 DENMARK	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 8を読む	30分
5回 草場	Chapter 8 DENMARK	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
6回 草場	Chapter 9 PORTUGAL	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 9を読む	30分
7回 草場	Chapter 9 PORTUGAL	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
8回 草場	Chapter 10 TURKEY	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 10を読む	30分
9回 草場	Chapter 10 TURKEY	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
10回 草場	Chapter 11 EGYPT	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 11を読む	30分
11回 草場	Chapter 11 EGYPT	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
12回 草場	Chapter 12 SOUTH AFRICA	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 12を読む	30分
13回 草場	Chapter 12 SOUTH AFRICA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
14回 草場	後期末まとめテスト	【予習】 テスト準備	90分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】 総復習	30分

# 実用英語 A

Kim Collins 園子

服飾表現学科 2年 前期 選択 ( 2単位 講義 )

## 授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

## 到達目標 (学修成果)

本授業を履修することにより、食事の注文、道案内、アドバイス、様々なトピックについての会話、プレゼンテーションなど、日常的な場面で英語でのコミュニケーションができるようになります。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養 (国際関係) 選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

なし

## 参考文献

特になし

## オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【出講日】金曜日 (英語研究室に連絡してください。)

## 備考

ハンドアウトはA4のファイルに綴じてください。期末に確認します。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	イントロダクション	【予習】シラバスを読む	30分
2回 各自	インテリア - 単数/複数、前置詞	【復習】クラスルーム・イングリッシュクイズ	30分
3回 各自	地図 - 道を教える、尋ねる	【復習】ジャーナル準備	30分
4回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
5回 各自	食べ物 - 料理の注文	【復習】フレーズワークシート	30分
6回 各自	レストランの話	【復習】クイズ	30分
7回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】スピーキングテスト準備	60分
8回 各自	中間発表テスト	【予習】テスト	30分
9回 各自	日常生活 - スケジュール	【復習】ジャーナル準備	30分
10回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
11回 各自	ショッピング - 比べる	【復習】フレーズワークシート	30分
12回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】クイズ	30分
13回 各自	最終テストのプレゼンテーション準備	【復習】スピーキングテスト準備	60分
14回 各自	最終テストのプレゼンテーション	【復習】テスト	30分
15回 各自	最終テストのプレゼンテーションフィードバック	【復習】テストの復習	30分

# 実用英語 B

Kim Collins 園子

服飾表現学科 2年 後期 選択 ( 2単位 講義 )

## 授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

## 到達目標 (学修成果)

本授業を履修することにより、映画やお祭り、伝統について話したり、さまざまなトピックについて話したり、プレゼンテーションを行ったりするなど、日常的な場面で英語でコミュニケーションをとることができるようになります。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養 (国際関係) 選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

なし

## 参考文献

なし

## オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【出講日】金曜日 (英語研究室に連絡してください。)

## 備考

ハンドアウト、テスト、プレゼンの準備はA4のファイルに綴じてください。期末に確認します。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	コース紹介と夏休みについての会話	【予習】シラバスを読む 【復習】ワークシート	30分
2回 各自	夏休みについてショー・アンド・テル	【復習】夏休みについてのレポート	30分
3回 各自	好み 好き嫌い - 提案	【復習】ジャーナル準備	30分
4回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
5回 各自	Moviesムービーpt1	【復習】ワークシート	30分
6回 各自	Moviesムービーpt 2	【復習】クイズ	60分
7回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】中間テストに向けて復習	30分
8回 各自	中間発表テスト	【復習】中間テスト復習	30分
9回 各自	マインドマップ	【復習】ワークシート	30分
10回 各自	祭りと伝統	【復習】ジャーナル準備	30分
11回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
12回 各自	祭りと伝統	【復習】クイズ	30分
13回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】プレゼンテーション準備	60分
14回 各自	最終プレゼンテーション	【予習】プレゼンテーション	30分
15回 各自	フィードバック	まとめ	30分

# ファッション英語 A

草場 千紘

服飾表現学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなどのファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

## 到達目標 (学修成果)

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係) ・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

プリントを配布します。

## 参考文献

必要に応じて指示します。

## オフィスアワー・研究室

英語研究室 (研究棟3階6034) 第 1 回目の授業で提示します。

## 備考

テキストは、プリントを用意します。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション 課題の詳細説明	予習: シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 草場	服飾関連記事の読解 (1) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
3回 草場	服飾関連記事の読解 (2) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
4回 草場	服飾関連記事の読解 (3) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
5回 草場	服飾関連記事の読解 (4) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
6回 草場	服飾関連記事の読解 (5) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
7回 草場	服飾関連記事の読解 (6) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
8回 草場	服飾関連記事の読解 (7) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
9回 草場	服飾関連記事の読解 (8) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
10回 草場	服飾関連記事の読解 (9) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
11回 草場	服飾関連記事の読解 (10) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
12回 草場	服飾関連記事の読解 (11) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
13回 草場	服飾関連記事の読解 (12) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
14回 草場	まとめ	予習: これまでの授業内容を振り返る	60分
15回 草場	講評	復習: これまでの授業内容を振り返る	50分

# ファッション英語 B

草場 千紘

服飾表現学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなどのファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

## 到達目標 (学修成果)

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係) ・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 B は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

プリントを配布します。

## 参考文献

必要に応じて指示します。

## オフィスアワー・研究室

英語研究室 (研究棟3階6034) 第 1 回目の授業で提示します。

## 備考

テキストは、プリントを用意します。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション 課題の詳細説明	予習: シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 草場	服飾関連記事の読解 (1) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
3回 草場	服飾関連記事の読解 (2) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
4回 草場	服飾関連記事の読解 (3) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
5回 草場	服飾関連記事の読解 (4) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
6回 草場	服飾関連記事の読解 (5) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
7回 草場	服飾関連記事の読解 (6) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
8回 草場	服飾関連記事の読解 (7) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
9回 草場	服飾関連記事の読解 (8) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
10回 草場	服飾関連記事の読解 (9) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
11回 草場	服飾関連記事の読解 (10) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
12回 草場	服飾関連記事の読解 (11) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
13回 草場	服飾関連記事の読解 (12) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
14回 草場	まとめ	予習: これまでの授業内容を振り返る	60分
15回 草場	講評	復習: これまでの授業内容を振り返る	50分

# フランス語（総合）A

福本 しのぶ

服飾表現学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

## 授業の方針・概要

フランス語の歴史を追いながら、フランス文化を学び、フランスのエスプリを感じ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

## 到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

随時コピー配布。  
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

## 参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

## オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

## 備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。  
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。  
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランスを知る フランスと日本の関わり合い 基本のあいさつ	復習：講義メモ整理	30分
2回 2	フランス語の歴史 発音の決まり	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランス語基礎会話	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	フランスの今	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	フランスの生活	復習：講義メモ整理	30分
6回 6	フランス映画を見る	復習：映画の概要資料を見る	30分
7回 7	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
8回 8	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す 予習：フランスらしさ、とは何か。	30分
9回 9	フランスの生活	復習：講義メモ整理	30分
10回 10	フランス語基礎会話	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	フランスの文化	復習：講義メモ整理	30分
12回 12	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
13回 13	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
14回 14	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す 予習：フランスらしさ、とは何か。	30分
15回 15	まとめ	復習：講義メモ整理	30分

# フランス語（総合）B

福本 しのぶ

服飾表現学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

## 授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランスの歴史、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

## 到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

随時コピー配布。  
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

## 参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

## オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

## 備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。  
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。  
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	発音の決まり / 基本のあいさつ	復習：講義メモ整理	30分
2回 2	発音の決まり	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランスの芸術	復習：講義メモ整理	30分
4回 4	発音の決まり 基本単語	復習：講義メモ整理	30分
5回 5	フランスの過去	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	フランスの現在	復習：講義メモ整理	30分
7回 7	フランス映画を見る	復習：講義メモ整理	30分
8回 8	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す 予習：映画の中のフランスらしさ、とは何か。	30分
9回 9	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す	30分
10回 10	映画のセリフを考える	復習：見た映画を思い出す	30分
11回 11	フランスの芸術	復習：講義メモ整理	30分
12回 12	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
13回 13	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
14回 14	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す	30分
15回 15	まとめ	復習：講義メモ整理	30分

# ファッションフランス語 A

福本 しのぶ

服飾表現学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

フランス語の初級文法、簡単な会話を学びながら、基本的なファッション用語を身につける。映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、一步フランス人に近づきましょう。

## 到達目標 (学修成果)

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

随時コピー配布。  
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。  
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

## 参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVDやフランス語サイト。

## オフィスアワー・研究室

木曜日 (12:20~12:50) 第3校舎講師控室

## 備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。  
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。  
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 1	フランスを知る 日本との違い 基本的なあいさつ	予習 : シラバスを読む	30分
2回 2	アルファベ・筆記体・発音の決まり・つづり字	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	衣服の名称 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	数字 (0~60) 発音練習 ものの大きさ サイズ表現	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	数字 (70~100) 発音練習 フランス人が好きなファッション (ビデオ)	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	衣服の名称 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	映画	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	映画	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	ディスカッション 言葉と発音	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	色、フランス独自の色 名詞 (男・女)	復習 : 資料を読む	30分
11回 11	大学図書館のフランス語資料 ファッション用語探し	復習 : 資料を読む	30分
12回 12	生地の素材、柄 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	映画	復習 : 資料まとめ	30分
14回 14	映画	復習 : 資料まとめ	30分
15回 15	まとめ	復習 : 資料のファイリング	30分

# ファッションフランス語 B

福本 しのぶ

服飾表現学科 2年 後期 選択 ( 2単位 講義 )

## 授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランス・ファッション、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランスのファッションの在り方を見ていきます。映像、資料を見ながら解説をし、次の授業では語彙の説明、発音をし、理解を深めていきます。フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。

## 到達目標 (学修成果)

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

## フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

最後にフランス人デザイナーに関するレポートを提出。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。

仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

## 参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVDやフランス語サイト。

## オフィスアワー・研究室

木曜日 ( 12 : 20 ~ 12 : 50 ) 第3校舎講師控室

## 備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。

言語は話さないとう達しませんので、積極的に声をだしてください。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 ( 予習・復習等 )	必要時間
1回 1	ファッションフランス語A 簡単な復習 基本的な挨拶 発音の決まり	予習 : シラバスを読む	30分
2回 2	発音の練習 フランス語の単語	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランスのファッション・デザイナーについて フランスのファッションの多様性	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	映画	復習 : 映画を思い出す	30分
5回 5	映画	復習 : 映画を思い出す	30分
6回 6	映画に使われていた言葉 映画についてのディスカッション	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	フランスのファッション・デザイナーについて あなたにとってのファッションとは?	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	モードとフランス フランス文化庁の関わり合い グループディスカッション	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	最終レポートに関して 大学図書館にてレポートの資料あつめ	復習 : レポート資料整理	30分
10回 10	ファッション・ドキュメンタリー	復習 : 資料を読む	30分
11回 11	ファッション・ドキュメンタリー	復習 : 資料を読む	30分
12回 12	フランスのファッション学校	復習 : 講義メモ整理	30分
13回 13	レポート仕上げ	復習 : 資料のまとめ 予習 : プレゼンテーションまとめ	30分
14回 14	レポート発表	復習 : 資料のまとめ 予習 : プレゼンテーションまとめ	30分
15回 15	レポート発表 まとめ	復習 : 資料のまとめ	30分

中国語（総合）A

盧 繁華

服飾表現学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

中国語と日本語との構文上の大きな相違点を理解し構文の仕組みから学びはじめる。教材文や模範文を使って基礎文法文型を中心に勉強し読み書きを合わせて授業を進める。

到達目標（学修成果）

常用語彙と文法文型を操って中国語構文の組み立てができるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）】は卒業認定に必要な教養科目の1つである。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現力を身に付けるようにめざす。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返却して総合まとめ及びセルフチェックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』竹島金吾 著 発行所 金星堂

参考文献

学校附属の図書館にある中国語辞書類や中国語に関連する書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	文の構成法の基礎	復習:中国語のスペリング練習	30分
2回 盧	文の構成法の基礎	復習:中国語のスペリング練習	30分
3回 盧	文的構成する成分:1.形態素、2.単語	復習:中国語のスペリング練習	30分
4回 盧	3.フレーズ、4.短文	予習:教科書の第1課、第2課の読解内容	35分
5回 盧	文の分類:1.表現機能による分類	復習:第1課、第2課の教科書ページ練習問題	40分
6回 盧	平叙、疑問文、命令文、感嘆文、	予習:第3課、第4課の読解内容	35分
7回 盧	2.構造による分類	復習:第3課、第4課の教科書ページの練習問題	40分
8回 盧	主述文、非主述文、	予習:第5課、第6課の読解内容	35分
9回 盧	3.述語の性質による分類	復習:第5課、第6課の教科書ページ練習問題	40分
10回 盧	動詞述語文、形容詞述語文、	予習:第7課、第8課の読解内容	35分
11回 盧	形容詞述語文、動詞述語文、	復習:第7課、第8課の教科書ページ練習問題	40分
12回 盧	文の基礎構文の活用	予習:第9課、第10課の読解内容	35分
13回 盧	文の基礎構文の応用	復習:第9課、第10課の教科書ページ練習問題	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	総合まとめの所定練習問題	50分
15回 盧	前期内容の総合まと	総合セルフチェック	60分

# 中国語（総合）B

盧 繁華

服飾表現学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

## 授業の方針・概要

中国語総合 授業の前半は中国語の構文に必要な品詞、語彙と文法項目を確実に把握して、授業の後半は中国語の文章力を身につけるための中国語と日本語の双向翻訳のトレーニングを行って授業を進める。

## 到達目標（学修成果）

文法文型をしっかりと学ぶことを通して中国語文の構成や翻訳ができるようにする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）】は【中国語（総合）】と併せて、卒業認定に必要な教養科目である。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現を出来るようにめざす。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

平常授業内と授業外の小テストを学期末でまとめて返却して期末総合テストに参考する。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』 竹島金吾 著 発行所 金星堂

## 参考文献

学校の附属図書館にある中国語辞書類や中国語の書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

## オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

## 備考

なし

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	ウォーミングアップ、前学期に学んで内容を復習	復習：前期の既習文型文法の復習問題	45分
2回 盧	中国語の二大品詞、実詞と虚詞の概念	予習：第11課の読解練習	30分
3回 盧	実詞：名詞、動詞、形容詞、数量詞の文法的機能	復習：第11課の教科書ページ問題、所定問題	40分
4回 盧	虚詞：副詞、助詞、介詞、接続詞の修飾的作用	予習：第12課の読解練習	30分
5回 盧	品詞と文の関連性と働き	復習：第12課の教科書ページ問題、所定問題	40分
6回 盧	常用フレーズ	予習：第13課の読解練習	30分
7回 盧	構文機能その一、 1.主語、2.述語、3.目的語	復習：第13課の教科書ページ問題、所定問題	40分
8回 盧	4.定語、5.状語、6.補語	予習：第14課の読解練習	30分
9回 盧	構文機能その二、 1.特殊な動詞述語文	復習：第14課の教科書ページ問題、所定問題	40分
10回 盧	2.是……的の文	予習：第15課の読解練習	30分
11回 盧	3.疑問文と反語文	復習：第15課の教科書ページ問題、所定問題	40分
12回 盧	4.比較文	予習：第16課の読解練習	30分
13回 盧	複文の分類、その特徴	復習：第16課の教科書ページ問題、所定問題	40分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	後期内容の総合まとめ練習	50分
15回 盧	後期内容の総合まとめ	セルフチェック	50分

# 中国語（会話）A

盧 繁華

服飾表現学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

## 授業の方針・概要

中国語発音の特徴とローマ字表記規則から学びはじめ、会話に必要な語彙や規範的なフレーズや基礎語句を併せて学ぶ。授業は聞く、話す、書くなどの形式で進める。

## 到達目標（学修成果）

正しい発音をマスターすることを到達目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語会話】は卒業認定に必要な教養科目の1つである。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現力を身に付けることをめざす。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返却して総合まとめと期末テストを行う。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』竹島金吾 著 発行所 金星堂

## 参考文献

学校附属図書館にある中国語辞典類や中国語書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

## オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

## 備考

なし

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	中国語の発音のしくみ	復習：母音・子音の発音練習	30分
2回 盧	中国語の表記法、アルファベットの認識	復習：複合母音の発音練習	30分
3回 盧	中国語の読み方、スペリングの規則	復習：鼻母音の発音練習	30分
4回 盧	頻繁に使う日常挨拶の言葉、人称代名詞	予習：課本の第1課、第2課の音声練習	35分
5回 盧	名詞述語文（Aは何だ）	復習：第1課、第2課の教科書ページ聴解練習	40分
6回 盧	中国語の肯定文・否定文・疑問文	予習：課本の第3課、第4課の会話練習	35分
7回 盧	反復疑問文の文型特徴	復習：第3課、第4課の教科書ページ聴解練習	40分
8回 盧	数と年・月・日・時刻の言い方	予習：課本の第5課、第6課の会話練習	35分
9回 盧	動詞述語文（主語Aはどうする）	復習：第5課、第6課の教科書ページ聴解練習	40分
10回 盧	形容詞述語文（主語Aはどうだ）	予習：課本の第7課、第8課の会話練習	35分
11回 盧	存在を表わす文	復習：第7課、第8課の教科書ページ聴解練習	40分
12回 盧	場所や方向について言葉	予習：課本の第9課、第10課の会話練習	35分
13回 盧	主述述語文（AのBは何だ / AはBがどうだ）	復習：第9課、第10課の教科書ページ聴解練習	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	前期内容の総合まとめ聴解練習	50分
15回 盧	前期内容の総合まとめ	総合セルフチェック	60分

# 中国語（会話）B

盧 繁華

服飾表現学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

## 授業の方針・概要

常用語彙や文型などを増やしてリスニング・シャドーイングという練習方法で正しい発音を把握する。聞く力、会話力を身につけるために語彙とフレーズを暗誦するなどの方法で授業を進める。

## 到達目標（学修成果）

中国語ができる限り聞き取れる、話せる能力を伸ばすことを目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)】は【中国語(会話)】と併せて、卒業認定に必要な教養科目である。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現が出来ることをめざす。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

平常授業内と授業外で完成した課題を学期末に返却して期末の総合まとめとセルフチェックに参考にする。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

『改訂新版 中文課本 基礎編』 竹島金吾 著 発行所 金星堂

## 参考文献

学校附属図書館にある中国語辞書類や中国語書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

## オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

## 備考

なし

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	発音のウォーミングアップ、前期会話内容の復習	復習：母音子音の正確な発音のチェック	30分
2回 盧	常用介詞の用法	復習：既習会話、所定練習	30分
3回 盧	常用介詞の用法	予習：課本の第11課会話部分	35分
4回 盧	動詞連用文	復習：第11課の聴解練習問題	40分
5回 盧	動詞連用文	予習：課本の第12課会話部分	35分
6回 盧	動詞連用文	復習：第12課の聴解練習問題	40分
7回 盧	動作の時点や期間の言い回し	予習：課本の第13課会話部分	35分
8回 盧	動作の回数と目的語	復習：第13課の聴解練習問題	40分
9回 盧	動作の完了形	予習：課本の第14課会話部分	35分
10回 盧	動作の方向を示す	復習：第14課の聴解練習問題	40分
11回 盧	三大構造助詞の用法	予習：課本の第15課会話部分	35分
12回 盧	二重目的語	復習：第15課の聴解練習問題	40分
13回 盧	比較文の表現	復習：所定の読み物	45分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	所定のまとめ聴解問題	55分
15回 盧	後期内容のセルフチェック	セルフチェック	60分

# 博物館経営論

丸山 憲子

服飾表現学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

博物館の経営について学習する。多様化する博物館の経営体制について認識を深め、今日の博物館経営をめぐる諸相を把握し、今、博物館に何が求められているのか、また博物館本来の存在意義について学習する。

## 到達目標(学修成果)

- ・博物館の適切な機能や経営体制の把握
- ・ミュージアムマネジメントについての基礎的事項の理解
- ・現代博物館を多角的な視点で考察できることを目標とする。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

## フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

授業時に指示します。

## 参考文献

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

## オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

## 備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館経営論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	ミュージアムマネジメントの意義について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	博物館法について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	独立行政法人立等、設立母体 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
5回 丸山	指定管理者等、設立母体 について学習する。 設立母体についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館評価について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
7回 丸山	博物館の館内組織・館外組織について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	博物館の施設・設備について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
9回 丸山	博物館におけるマーケティングについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	ミュージアムショップやレストラン等アメニティという側面から学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
11回 丸山	今日の社会状況を踏まえた博物館の課題について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。振り返りをしておくこと。	60分
12回 丸山	まとめ(小テスト)及びプレゼンテーションのための説明。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	30分
13回 丸山	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション	予習: プレゼンテーション準備 復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
14回 丸山	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分

**博物館資料論**

丸山 憲子

服飾表現学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

**授業の方針・概要**

博物館において資料は必要不可欠な存在です。どんな博物館でも「資料」を有し、コレクションをなしています。今日の博物館のコレクションは多種多様であり、一口で「博物館」と言ってもその範囲は極めて大きい。本講では現代博物館が扱う資料(コレクション)について、博物館の歴史とともに体系的に学習する。また、資料収集・整理保管・調査研究・教育普及という4つの博物館機能(活動)を通して、いわゆる実物(1次資料)から2次資料が発生していくことを理解し、それぞれの機能(活動)における1次資料・2次資料の特性・役割を学習する。

**到達目標(学修成果)**

博物館資料の様々な特性を理解し、博物館活動にとって必要なもの・ことを認識できるようにする。

**卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連**

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

**フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法**

小テスト・試験後の解説

**成績評価の方法・基準**

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

**教科書**

授業時に指示します。

**参考文献**

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

**オフィスアワー・研究室**

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

**備考**

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

**授業計画**

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館資料論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	博物館の成立背景に見られる資料についての事例を挙げ、博物館=資料の存在を認識する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	1次資料と2次資料の博物館活動における役割、及び資料の価値について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	1次製作資料として分類される実物製作資料と情報製作資料について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	1次標本資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	1次標本資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	1次資料についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	2次資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	2次複合製作資料について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	博物館機能を再確認する。 資料の収集について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
11回 丸山	資料の整理保管について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
12回 丸山	資料の調査研究活動について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
13回 丸山	教育普及という観点から、資料のもつ意味とその効果について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
14回 丸山	資料の取り扱い、及び運搬という観点から学習する。 博物館機能のまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分

# 博物館資料保存論

榎 彰太郎

服飾表現学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

## 授業の方針・概要

博物館資料論を基礎として、博物館資料の保存の意義、目的、資料保存の前提としての劣化原因とその対策、資料の材質に応じた劣化対策、保存技術等について、論理的に授業を進めます。

## 到達目標（学修成果）

学芸員が日常的に取り扱う博物館資料について、収集、保管、調査研究、展示他の活用といった博物館機能の各局面において、資料保存の理論と実践法を習得し、時代に適応できる博物館学芸員としての資質を得られるようになる。

## 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、学芸員資格取得のための必修科目です。

## フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業時間中に小試験を実施し、出題の意図及び模範回答等について解説し、理解・習得の促進をサポートします。

## 成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## 教科書

なし

## 参考文献

本田光子・森田 聡 『博物館資料保存論』、青木 豊 編 『人文系博物館資料保存論』

## オフィスアワー・研究室

土曜日（講義時間 14:40～16:10）

## 備考

授業への取組みは、出欠状況を中心に受講態度、取組状況等評価します。授業内試験を実施し、講義内容の理解度を測定し、成績判定に活用します。

## 授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 榎	博物館資料保存の意義、目的	予習 シラバスを事前に目を通す	30分
2回 榎	博物館資料の種類と特性	復習 博物館資料の種類と種類ごとの特性について確認する。	30分
3回 榎	文化財保護と博物館資料 1	復習 文化財と博物館資料の関係について確認する。	30分
4回 榎	文化財保護と博物館資料 2	復習 博物館資料と文化財保護の関係について確認する。	30分
5回 榎	博物館史にみる資料保存の方法	復習 博物館史上の伝統的保管方法について確認する。	30分
6回 榎	博物館資料の材質による劣化と対策 1 瞬間的・破壊的な劣化（人災・天災）	復習 人災や天災による瞬間的・破壊的な劣化と対策について確認する。	30分
7回 榎	博物館資料の材質による劣化と対策 2 緩慢、確実に進行する劣化（温湿度、大気等）	復習 温湿度の変化、大気中の粉塵等の影響・対策について確認する。	30分
8回 榎	博物館資料の材質による劣化と対策 3 緩慢、確実に進行する劣化（汚染物質、薬品類、光等）	復習 大気中の汚染物質及び薬品類、光等の影響・対策について確認する。	30分
9回 榎	博物館資料の材質による劣化と対策 4 緩慢、確実に進行する劣化（虫害、黴菌類等）	復習 虫害及び黴菌類等の影響・対策について確認する。	30分
10回 榎	博物館資料の修理と修復	復習 博物館資料の修理・修復の必要性とその方法について確認する。	30分
11回 榎	博物館資料の保存環境（収蔵施設・展示施設等）	復習 博物館資料の保管・展示に適した施設の条件について確認する。	30分
12回 榎	博物館資料保存のための科学技術 1	復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。	30分
13回 榎	博物館資料保存のための科学技術 2	復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。	30分
14回 榎	博物館資料の取扱い 1（資料取扱い上の留意点等）	復習 博物館活動の様々な局面における資料取扱い上の留意点を再確認する。	45分
15回 榎	博物館資料の取扱い 2（展示ほかの活用等）	復習 展示他の活用の局面での資料保存を前提とする取扱い法を確認する。	45分